

Panasonic

操作説明書

アップグレードソフトウェアキー

品番 **AG-SFU604G**



もくじ

はじめに	3
本書について	3
アップグレードソフトウェアキーについて	3
セキュリティに関するお願い	5
ワイヤレスモジュール（品番：AJ-WM30）使用上のお願い	6
主なオペレーション	7
接続に必要なパーソナルコンピューター環境	7
必要なシステム構成	7
準備	9
ワイヤレスモジュールを取り付ける	9
ネットワーク機能およびプレイリスト編集機能を有効にする	9
ネットワーク設定を行う	11
P2 カムの LAN 設定をする	11
LAN 機能を動作させる	12
パーソナルコンピューター / 携帯端末の無線 LAN 設定をする	13
パーソナルコンピューターの有線 LAN 設定をする	17
パーソナルコンピューター / iPad と接続する	20
Web ブラウザからアプリを起動する	20
プレイリストを作成する	22
プレイリスト編集機能	22
プレイリスト編集 Web アプリの画面各部の名称とはたらき	23
プレイリストへの登録	31
登録イベントの修正	32
プレイリストのプレビュー	33
再生開始位置を指定したプレイリストのプレビュー	33
プレイリストを P2 カードに保存する	34
プレイリストを新規保存する	34
プレイリストを上書き保存する	34
プレイリストファイルを削除する	35
プレイリストファイルを開く	35
プレイリストを P2 カムで再生する	37
プレイリストの先頭から P2 カムで再生する	37
再生開始位置を指定してプレイリストを P2 カムで再生する	37
プレイリストから新しいクリップを作成する （エディットコピー）	38
プレイリストをエクスポートする	39
プレイリスト編集機能を終了する	40
P2 カムの電源を切って終了させる	40
〈USER〉 ボタンを使って終了させる	40
用語解説	41

はじめに

- SD ロゴは、登録商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows ロゴ、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における商標または登録商標です。
- 本書では、下記 OS（オペレーティングシステム）を、「Windows 7」、「Windows 8」と表記しています。
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Apple、Mac、Mac OS、MacBook、iPad、QuickTime、Safari は、米国 Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書について

- 本書は、パーソナルコンピュータおよび携帯端末側の有線 LAN および無線 LAN に関する設定が完了していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- 本機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機能を使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償できませんので、あわせてご了承ください。
- メモリーカードカメラレコーダー（以下 P2 カム）の操作については、P2 カム（品番：AG-HPX600 シリーズ）の取扱説明書を読み、操作を理解していることを前提に説明しています。
- [] の語句は P2 カム側のメニューに表示される内容やパーソナルコンピュータおよび携帯端末に表示される内容を示しています。
- 本書では、参照ページを（〇〇ページ）のように示しています。

■ 本書内のイラストについて

- P2 カム本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも SD メモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカードを「P2 カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

アップグレードソフトウェアキーについて

アップグレードソフトウェアキー AG-SFU604G は P2 カム AG-HPX600 シリーズのプレイリスト編集機能を有効にするアップグレードソフトウェアキーです。このプレイリスト編集機能を使用する場合は、別売りの AG-SFU601G（ネットワーク接続オプション機能）と合わせて有効にする必要があります。

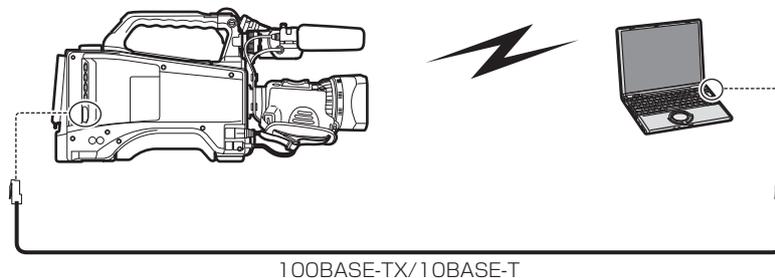
有線 LAN は 100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。

無線 LAN は、IEEE802.11g および IEEE802.11n に対応しています。

- プレイリストの編集 / 保存
- プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）
- プレイリストを用いた SDI 再生
- メタデータの表示 / 編集
- メタデータ（ショットマーク / テキストメモ）の付与 / 削除

NOTE

- 無線 LAN で接続する場合は、別売りのワイヤレスモジュール（品番：AJ-WM30）が必要です。市販のワイヤレスモジュールは取り付けられません。
- プレイリスト編集機能を使用する場合は、端末側のディスクの容量が十分に残っていることをご確認の上、操作してください。
- プレイリスト編集機能を使用する場合は、別売りのビデオエンコーダーボード（AG-YDX600G）が必要です。



- LAN 端子に接続するケーブルはシールドケーブルをお使いください。
- LAN ケーブルを抜くときは、P2 カムの電源をオフにしてください。

■ 対応モデル

P2 カム：AG-HPX600 シリーズ

■ キーコードについて

- キーコードは本製品の再登録の際に必要となりますので、関連付けた P2 カムのシリアル番号と合わせて大切に保管してください。

■ P2 カム本体のファームウェアについて

- AG-HPX600 シリーズ本体側のファームウェアバージョンが 18.05-00-0.00 以前の場合、プレイリスト編集機能を有効にするためにはファームウェアのアップデートが必要です。
ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトの P2 のサポートページを参照してください。
日本語： <http://panasonic.biz/sav/>
英語： <http://pro-av.panasonic.net/>
- ファームウェアのバージョンアップの方法は、AG-HPX600 シリーズ本体の取扱説明書の「本機搭載ファームウェアのアップデート」（第 10 章）をご参照のうえ、アップデートを実施してください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

パーソナルコンピューターや携帯端末のセキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
 - パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
 - パスワードは定期的に変更してください。
 - パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
 - 本製品を修理、保守、廃棄、譲渡する場合は、情報の漏えいを防ぐためネットワーク設定の初期化を行ってください。
-

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するお願い

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパーソナルコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。P2 カム（品番：AG-HPX600 シリーズ）を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、各地域の修理ご相談窓口までお問い合わせください。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

ワイヤレスモジュール（品番：AJ-WM30）使用上のお願い

- ワイヤレスモジュールの取扱説明書の「ご使用になる前に」と「使用上の注意点」をよく読み、内容を十分理解してご使用ください。
- 本製品では誤操作を防ぐため、下記の制限をしています。

サポート規格	IEEE802.11g/IEEE802.11n * IEEE802.11a および IEEE802.11b は使用できません。
通信周波数	2412 MHz～2462 MHz (1ch, 6ch, 11ch) * 12ch 以上は使用できません。

■ 海外での取り扱いについて

AJ-WM30 は国内でのみ使用することができます。

世界各地の電波に関する法律に準拠するため、下記 4 種類の AJ-WM30 を販売しています。

各製品に対応した国・地域以外では使用できませんのでお気をつけください。

製品名称	使用可能地域
AJ-WM30MC	中華人民共和国
AJ-WM30P	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、アルゼンチン、ペルー、台湾
AJ-WM30E	EU 加盟国、EFTA 加盟国、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、ウクライナ、サウジアラビア、UAE、クウェート、オマーン、エジプト、南アフリカ共和国、韓国、フィリピン、マレーシア、シンガポール
AJ-WM30	日本

■ その他、各国で使用する場合には下記にもお気をつけください。

- フランスでは、屋外での使用が禁止されています。

■ ワイヤレスモジュールは P2 カムのカメラ本体の後方右側に取り付けられます。

P2 カムの前方（レンズ側）では電波の強度が下がります。プロキシー映像の再生やダウンロードなど、高速な伝送を行う場合には P2 カムの後方（バッテリー側）、左右 45° 以内の範囲にパーソナルコンピューターや iPad などの端末を配置してお使いください。

主なオペレーション

接続に必要なパーソナルコンピューター環境

- はじめに、お使いのパーソナルコンピューターに無線 LAN 機能、または、有線 LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。
- すべての無線 LAN/有線 LAN アダプターやパーソナルコンピューターでの動作を保証するものではありません。
- ワイヤレスモジュールとパーソナルコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1：無線 LAN の設定

無線 LAN 機能を使用する場合

- **無線 LAN 機能が内蔵されているパーソナルコンピューター**
 - 無線 LAN が有効になっていますか。
- **無線 LAN 機能が内蔵されていないパーソナルコンピューター**
 - 無線 LAN アダプターが正しく認識されていますか。
 - 無線 LAN アダプターが有効になっていますか。
 - 事前に無線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、無線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック 2：有線 LAN の設定

有線 LAN 機能を使用する場合

- **有線 LAN 機能が内蔵されているパーソナルコンピューター**
 - 有線 LAN が有効になっていますか。
- **有線 LAN 機能が内蔵されていないパーソナルコンピューター**
 - 有線 LAN アダプターが正しく認識されていますか。
 - 有線 LAN アダプターが有効になっていますか。
 - 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック 3：パーソナルコンピューターの設定

- セキュリティ（ファイアウォール）ソフトや無線 LAN/有線 LAN アダプターのユーティリティソフトがインストールされていると、P2 カムと接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジを設定していませんか。
- ファイアウォールは無効になっていますか。

必要なシステム構成

無線 LAN、有線 LAN を使用するには下記の条件を満たすパーソナルコンピューターが必要です。
下記の条件を満たすすべてのパーソナルコンピューターについて動作を保証するものではありません。

- **Windows**
 - Microsoft Windows® 7 Professional 32/64 bit
 - Microsoft Windows® 8 Professional 32/64 bit

- **Macintosh**
 - Mac OS X v10.7.x、v10.8.x

- **iPad**
 - iOS v5.x、v6.x

最新の動作確認バージョンについては、下記ウェブサイトのサポートページを参照してください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

NOTE

- 管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントのユーザー名でログオンしてから、ご使用ください。ゲストアカウントのユーザー名では、ご使用になれません。

■ Web ブラウザについて

- Web 制御を行うには Web ブラウザが必要です。
- 最新の対応ブラウザについては、下記ウェブサイトのサポートページを参照してください。
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>
英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

NOTE

- テキスト文字入力時、P2 カムは絵文字入力に対応しておりません。絵文字は使用しないでください。

■ メディアプレーヤーについて

- プレイリストプレビューには QuickTime が必要です。
- 最新の動作確認バージョンについては、下記ウェブサイトのサポートページを参照してください。
日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>
英語 : <http://pro-av.panasonic.net/>

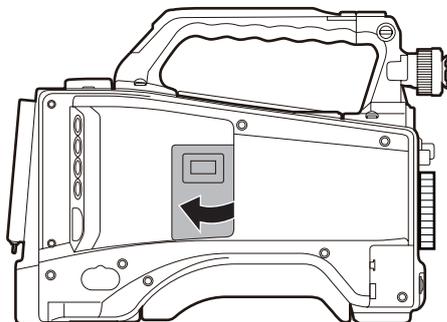
準備

P2 カムにパーソナルコンピュータや iPad を接続するための準備をします。

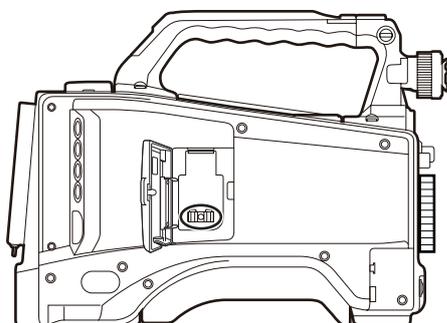
ワイヤレスモジュールを取り付ける

無線 LAN 機能を使用する場合は、ワイヤレスモジュールを準備し、下記の手順で取り付けを行ってください。

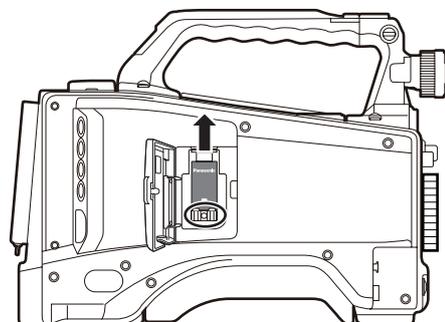
1 P2 カムの本体の扉を開く



2 ワイヤレスモジュール固定部品のねじを取り外す



3 USB ポートにワイヤレスモジュールをしっかりと取り付け、手順 2 で取り外したワイヤレスモジュール固定部品を外したねじで固定し、扉を閉じる



NOTE

- 無線 LAN 使用時には、ワイヤレスモジュールをきちんと取り付け、扉を閉じた状態で使用してください。

ネットワーク機能およびプレイリスト編集機能を有効にする

お買い上げ後に P2 カムとパーソナルコンピュータを接続する場合は、30 桁のアクティベーションコードを P2 カム本体にインポートして機能を有効にしてください。

アクティベーションコードはアクティベーションコード発行サイトにアクセスし、表示される手順に従って P2 カム本体からエクスポートした機器情報と本製品に同梱のキーコードを認証させることで入手できます。

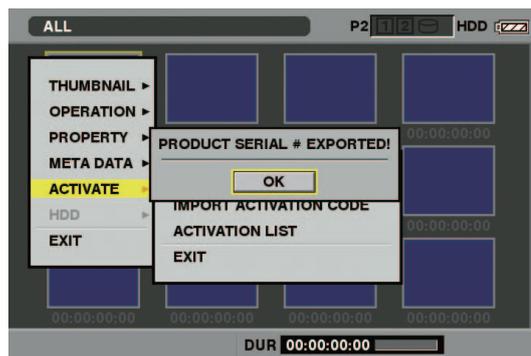
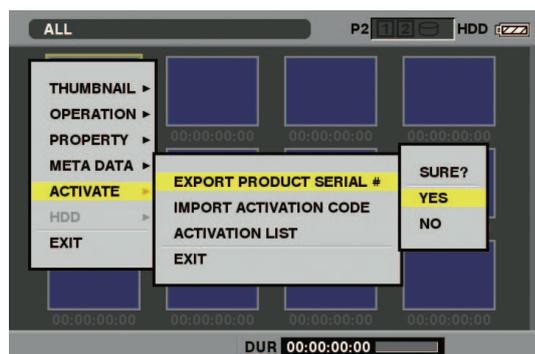
なお手続きには、SD メモリーカード (P2 カムでフォーマットしたもの) と、SD メモリーカードスロットを搭載したパーソナルコンピュータ、およびインターネット接続環境が必要です。

NOTE

- 有効化できていない場合は、P2 カムのメニューでネットワークに関する項目が灰色で表示されます。
- プレイリスト編集機能を有効にするには、別売りの AG-SFU601G (ネットワーク接続オプション機能) も必要です。

1 P2 カム本体の機器情報を SD メモリーカードにエクスポートする

P2 カム本体を起動し、SD メモリーカードを挿入して〈THUMBNAIL〉ボタンを押してサムネール画面を開いた後、〈THUMBNAIL MENU〉ボタンでメニューを開き、[ACTIVATE] - [EXPORT PRODUCT SERIAL #] - [YES] と選択すると、SD メモリーカード内に private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ というフォルダーが作成され、SERIAL.LST というファイルに P2 カムの機器情報が保存されます。



〈SET〉ボタンを押してダイアログ表示を閉じます。

- アクティベーションコードを入手したい P2 カムに対して、1 枚の SD メモリーカードで手順 1 の操作を繰り返すことで、最大 100 台分の機器情報を保存できます。アクティベーションコード発行サイトは SD メモリーカードに保存された複数台数の機器情報をすべて読み取り、複数台数のアクティベーションコードを一括発行することができます。
- エラーダイアログが表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、書き込み禁止設定、空き容量などを確認してください。
- 予期しないエラーを防ぐためにも、P2 カムでフォーマットした SD メモリーカードの使用をお勧めします。

2 SDメモリーカードをP2カム本体から抜き、パーソナルコンピュータに挿入してブラウザから下記のアクティベーションコード発行サイトに接続し、サイトに表示される手順に従ってアクティベーションコードを入手する

日本語： http://panasonic.biz/sav/actkey_j

英語： http://panasonic.biz/sav/actkey_e

NOTE

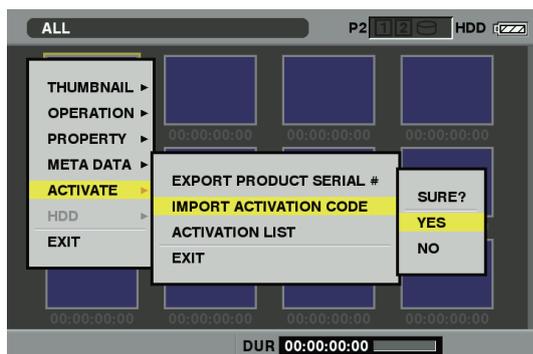
- 手順1で作成した private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ フォルダは手順3で必要になりますので、上記フォルダを削除したり、SDメモリーカードをフォーマットしないでください。
- SDメモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ フォルダの中に ACTIVE.LST というファイルがすでに保存されている場合、ご使用のブラウザによってはファイル名が自動的に変更される場合があります。上記フォルダに ACTIVE.LST ファイルがないことを確認してから、保存してください。

3 入手したアクティベーションコードを、手順1で作成したSDメモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ の中にサイト内の指示に従って保存し、パーソナルコンピュータからSDメモリーカードを抜く

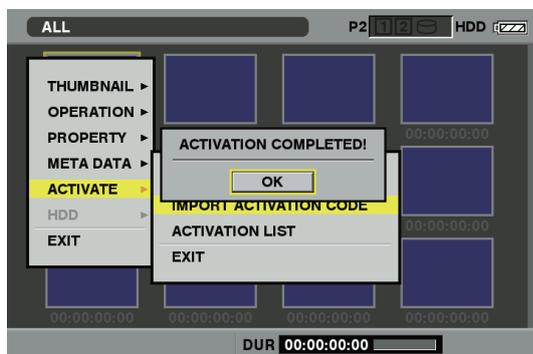
NOTE

- パーソナルコンピュータやOSの種類によっては、SDメモリーカードを抜くのに事前操作が必要な場合があります。

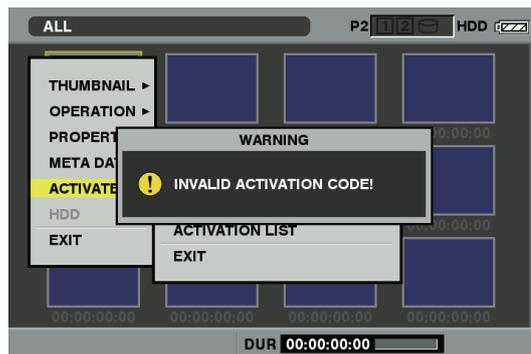
4 P2カム本体にアクティベーションコードを保存したSDメモリーカードを挿入し、(THUMBNAIL MENU) ボタンを押して、[ACTIVATE] - [IMPORT ACTIVATION CODE] - [YES] と選択する



有効化（アクティベーション）が完了すると [ACTIVATION COMPLETED!] とメッセージが表示されます。

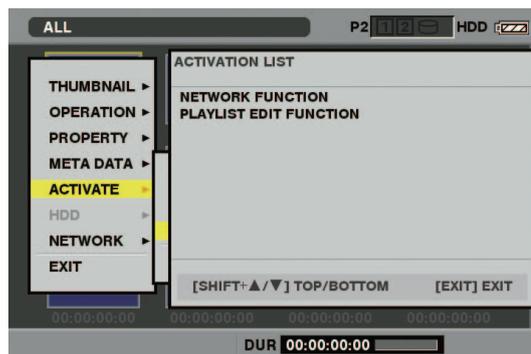


有効化（アクティベーション）が失敗した場合にはメッセージが表示されます。



NOTE

- エラーダイアログが表示された場合は、SDメモリーカードの挿入状態、手順3で保存したアクティベーションコードのファイル（ファイル名：ACTIVE.LST）の保存場所などを確認してください。
- AG-HPX600 シリーズ以外の P2 機器の機器情報や本製品以外のキーコードを用いて取得したアクティベーションコードではアクティベートできません。
- 操作の途中で、SDメモリーカード内データに対してほかの操作を行うと、有効化手続きができなくなる場合があります。
- 有効化（アクティベーション）が完了すると、有線LANや無線LANのネットワーク設定に必要なメニューが有効になります。
- 有効化した機能は、[ACTIVATE] - [ACTIVATION LIST] メニューで確認できます。



- プレイリスト編集機能を使用する場合は、別売りの AG-SFU601G（ネットワーク接続オプション機能）と合わせて有効にする必要があります。

ネットワーク設定を行う

無線 LAN や有線 LAN で接続するには次の手順で設定してください。

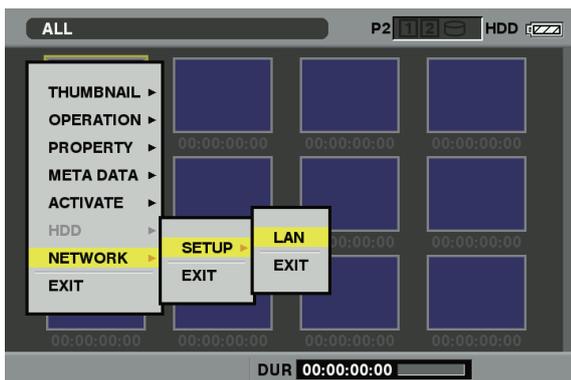
- 1 P2 カムの LAN 設定をする
- 2 P2 カムの LAN 機能を動作させる
- 3 パーソナルコンピュータ / 携帯端末の LAN 設定を行う

P2 カムの LAN 設定をする

LAN の設定を行う

下記の手順により、LAN 設定画面を開き設定を行います。

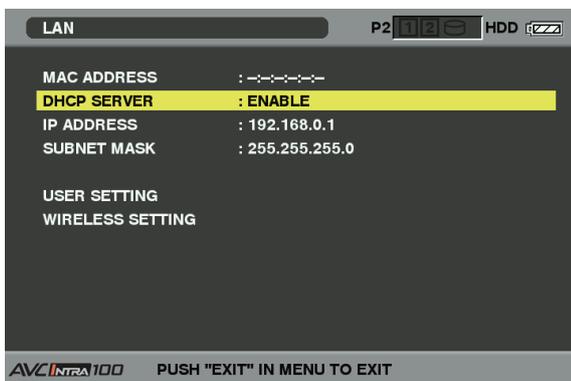
- 1 〈THUMBNAIL〉ボタンを押してサムネール画面を開いた後、〈THUMBNAIL MENU〉ボタンでメニューを開き、〔NETWORK〕 - 〔SETUP〕 - 〔LAN〕 を選択する



NOTE

- ・P2 カムのネットワーク機能が有効化（アクティベーション）されていないときは、〔LAN〕項目は表示されません。「ネットワーク機能およびプレイリスト編集機能を有効にする」（9 ページ）に従って P2 カムのネットワーク機能を有効にしてください。

- 2 必要に応じて各項目を設定する



設定項目：

項目名	設定内容	
MAC ADDRESS	動作している有線 LAN または無線 LAN アダプターの MAC アドレスを表示します。(変更できません)	
DHCP SERVER	[ENABLE]	DHCP サーバー機能を利用します。
	[DISABLE]	DHCP サーバー機能を利用しません。
IP ADDRESS	IP アドレスを設定します。(工場出荷設定：192.168.0.1)	
SUBNET MASK	サブネットマスクを設定します。(工場出荷設定：255.255.255.0)	
USER SETTING	ユーザー設定画面に移動します。	
WIRELESS SETTING	無線 LAN 設定画面に移動します。	

NOTE

- ・設定項目によっては、入力可能な文字や値などが制限される場合があります。
- ・DHCP サーバーからのアドレス割り当て範囲は設定された IP アドレス値 +15 の範囲です。
[240] 以上の数字を設定すると IP アドレスが正常に割り当てられないことがありますので、必ず [0] ~ [239] の数字を設定してください。
例：P2 カムの IP アドレスが [192.168.0.1] の場合、端末には [192.168.0.2] から [192.168.0.16] が割り当てられます。
- ・〈MENU〉ボタンを押すと、〔USER SETTING〕、クライアント設定画面の〔USER PASSWORD〕を除いた項目の設定内容を SD メモリーカードに保存したり、保存済みの内容を読み出ししたりすることができます。
 - 保存の場合、メニューから〔SAVE TO SD CARD〕を選択すると保存ファイル名入力用のダイアログが表示されます。初期状態では月日時分にあたる数字の名前が表示されますが、必要に応じて修正し、〔OK〕を押すと設定内容がファイルに保存されます。
 - 読み出す場合、メニューから〔LOAD FROM SD CARD〕を選択すると、保存済みファイルの一覧が表示されますので、読み出したいファイルを選択し、〈SET〉ボタンを押します。
- ・手順 2 の初期化設定処理を行うと、〔MAC ADDRESS〕以外の設定内容は工場出荷設定に戻ります。
- ・〔MAC ADDRESS〕は LAN 機能が動作している時に表示されます。詳しくは「LAN 機能を動作させる」（12 ページ）を参照してください。

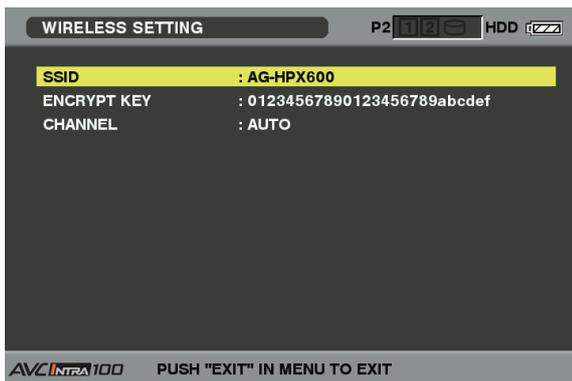
- 3 設定項目中の〔USER SETTING〕を選択し、ユーザー設定画面を表示する

- 4 必要に応じてメニューから〔NEW USER〕を選択し、ユーザー登録を行う

NOTE

- ・ユーザー登録は、Web ブラウザからの接続（20 ページ）の際に必要となります。
- ・ユーザー登録ダイアログでは、〈THUMBNAIL MENU〉ボタンにより項目間を移動できます。
- ・ユーザー名は 31 文字以下です。
- ・パスワードは 6 文字以上、15 文字以下です。
- ・工場出荷設定では、[guest] が登録されています。(パスワードは [p2guest])。登録可能なユーザー数は 3 人です。
- ・メニューからは、その他に、登録ユーザーの削除 [DELETE USER]、およびパスワードの変更 [CHANGE PASSWORD] の操作が可能です。手順 2 の初期化設定処理を行うと、ユーザー設定は工場出荷設定に戻ります。ユーザー名やパスワードがわからなくなった場合には、初期化処理をすることで対処できますが、〔DHCP SERVER〕、〔IP ADDRESS〕、〔SUBNET MASK〕、〔SSID〕、〔ENCRYPT KEY〕、〔CHANNEL〕設定も工場出荷に戻りますので、これらの設定内容を控えた後で、初期化処理を実行してください。

- 5 無線 LAN 機能を使用する場合は、設定項目中の [WIRELESS SETTING] を選択し、[WIRELESS SETTING] 画面を表示し、必要に応じて各項目を設定する



設定項目：

項目名	設定内容
SSID	ネットワーク名 (SSID) を設定します。(工場出荷設定：AG-HPX600)
ENCRYPT KEY	WPA2 暗号化キーを設定します。(工場出荷設定：01234567890123456789abcdef)
CHANNEL	使用チャンネルを設定します。(工場出荷設定：AUTO)

NOTE

- WPA2 暗号キーおよび [USER SETTING] は、セキュリティ対策のため、工場出荷設定値から必ず変更してください。

LAN 機能を動作させる

P2 カムで LAN 機能を動作させるには、設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面にある下表の項目で、接続や機能の設定を行います。
[PC/USB/LAN] 画面

項目 / データ保存	設定内容	
PC MODE	[ON]、[OFF] P2 カムをネットワーク接続する場合は [PC MODE] を [OFF] に設定してください。	
UPLINK DEVICE	アップリンクデバイスモードの許可、禁止を行います。プレイリスト編集機能を有効にする場合は、[UPLINK DEVICE] を [OFF] に設定してください。	
	[ON]	UPLINK 機器との通信を許可します。
	[OFF]	UPLINK 機器との通信を禁止します。
NETWORK SEL	外部機器 (携帯端末やパーソナルコンピューターなど) と P2 カムをネットワーク接続するときの接続方法を設定します。ネットワーク機能 AG-SFU601G が有効化されているときに有効です。使用する環境に応じて、[WLAN] または [LAN] を選択してください。	
	[WLAN]	無線 LAN で接続します。
	[LAN]	LAN 端子で接続します。
P2 BROWSE	P2 ブラウズ機能を設定します。ネットワーク機能 AG-SFU601G が有効化されているときに有効です。プレイリスト編集機能を使用する場合は [P2 BROWSE] を [OFF] に設定してください。	
	[ON]	P2 ブラウズ機能を動作させます。
	[ON (+CTRL)]	P2 ブラウズ機能を動作し、接続機器側から本機の記録制御とタイムコード、ユーザービットの設定を可能にします。
	[OFF]	P2 ブラウズ機能を停止させます。
PLAYLIST	プレイリスト編集機能を設定します。プレイリスト編集機能を使用する前に [ON] にしてください。P2 カムの電源を切るたびに [OFF] になります。ネットワーク機能 AG-SFU601G とプレイリスト編集機能 AG-SFU604G の両方が有効化されているときに有効です。 [PC MODE] を [ON] に設定している場合、選択画面がブルーアウト表示になり、設定できません。	
	[ON]	プレイリスト編集機能を動作させます。
	[OFF]	プレイリスト編集機能を停止させます。

_____ は工場出荷値です。

ネットワーク接続に問題がある場合、ビューファインダーに [NETWORK ERROR] と表示されます。
正常に動作していない場合、ワイヤレスモジュールまたは LAN ケーブルの取り付けなどを点検してください。

NOTE

- 設定項目によっては、入力可能な文字や値などが制限される場合があります。
- 使用チャンネルは、[AUTO] か [ch1]、[ch6]、[ch11] の選択です。チャンネル選択した場合、優先的に設定したチャンネルを割り当てますが、ご使用環境によっては設定値と異なるチャンネルが割り当てられることがあります。
- WPA2 暗号化キーは、以下の入力のいずれかにより設定されます。なお、WPA2 暗号化キーは、下記の内容に従って、必ず入力する必要があります。

設定内容	入力内容
文字列	8 ~ 63 文字の文字列
16 進数	64 桁の 16 進数

- 6 <EXIT> ボタンを 1 回、または 2 回押してサムネール画面に戻る

NOTE

- 設定項目によっては、サムネール画面に戻るまで内容が反映されません。
- 設定反映処理のため、サムネール画面での操作が可能になるまでに時間がかかる場合があります。

- 7 <THUMBNAIL> ボタンを押し、サムネール画面を終了する

パーソナルコンピュータ / 携帯端末の無線 LAN 設定をする

P2 カムと接続するパーソナルコンピュータおよび携帯端末の設定を行います。

NOTE

- ・ パーソナルコンピュータおよび携帯端末が無線 LAN 接続可能な状態であることを確認してください。確認方法は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- ・ 本製品は、IEEE802.11a および IEEE802.11b で接続することはできません。
- ・ 本製品の無線 LAN の暗号化方式は、WPA2 のみサポートされています。

Windows の設定をする

1 P2 カム本体の電源を切る

2 Windows の [ネットワークと共有センター] 画面を表示する

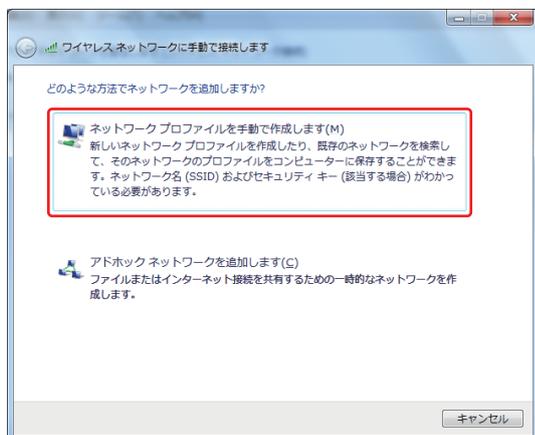
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] の順にクリックしてください。



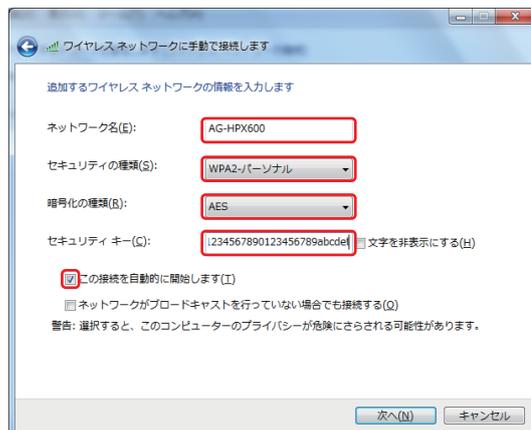
3 [ワイヤレスネットワークの管理] - [追加] をクリックする



4 [ネットワークプロファイルを手動で作成します (M)] をクリックする

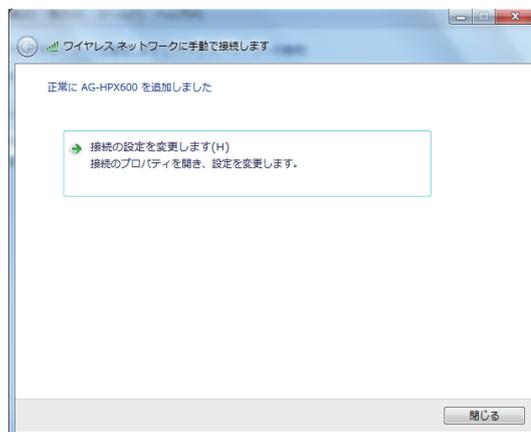


5 下記画面で無線 LAN の設定をして、[次へ] をクリックする

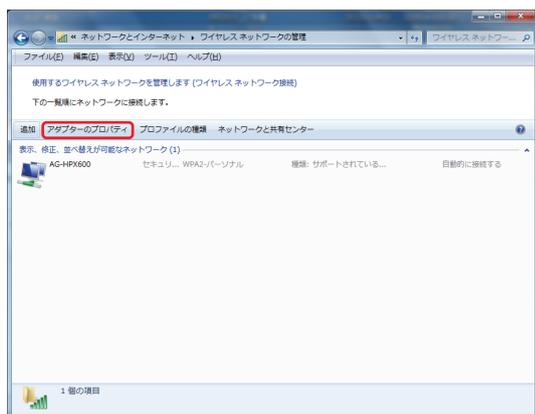


- ・ [ネットワーク名 (E)] : P2 カム本体で設定した SSID (工場出荷設定: AG-HPX600) を入力します。
- ・ [セキュリティの種類 (S)] : [WPA2-パーソナル] を選択します。
- ・ [暗号化の種類 (R)] : [AES] を選択します。
- ・ [セキュリティキー (C)] : P2 カム本体で設定した [ENCRYPT KEY] を入力します。(工場出荷設定: 01234567890123456789abcdef)
- ・ [この接続を自動的に開始します (T)] にチェックを入れてください。

6 [閉じる] をクリックする

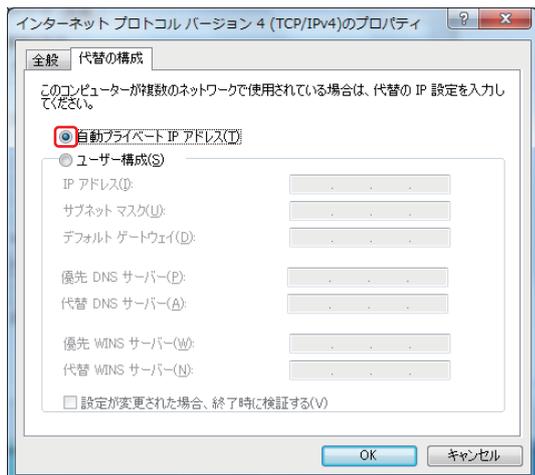
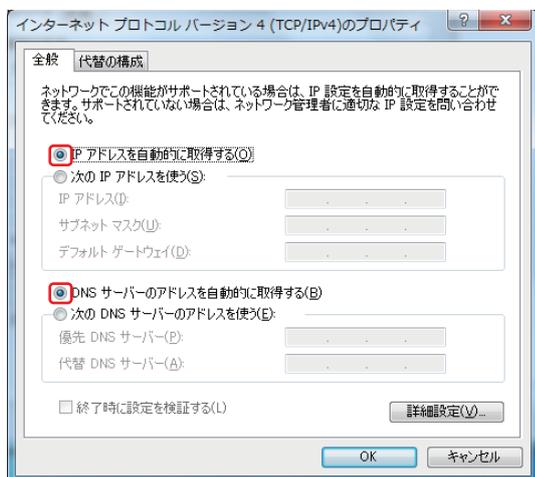


7 [アダプターのプロパティ] をクリックする



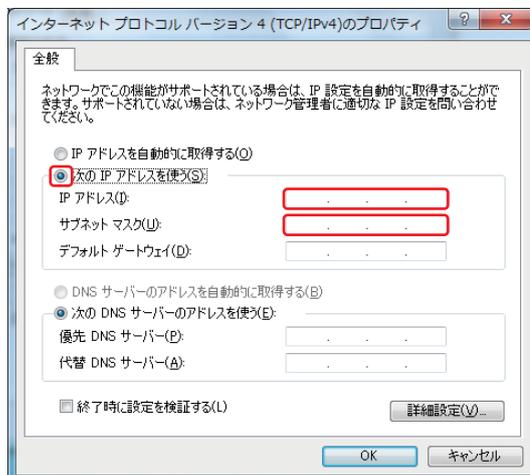
8 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] をクリックし、P2 カムの [DHCP SERVER] 設定 (11 ページ) に応じてどちらかの設定を行う

- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [ENABLE] の場合
- [全般] タブ: [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーを自動的に取得する] を選択する。
- [代替の構成]: [自動プライベート IP アドレス] を選択する。



■ P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [DISABLE] の場合

- [全般] タブ: [次の IP アドレスを使う] を選択し、下記設定を入力する。
 - [IP アドレス]:
 - [ネットワークアドレス]: P2 カム本体と同じアドレス
 - [ホストアドレス]: P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
 - [サブネットマスク]: P2 カム本体と同じ値
- [デフォルトゲートウェイ]、[優先 DNS サーバー]、[代替 DNS サーバー] は必要ありませんので、空欄のままとしてください。



9 [OK] を 2 度クリックする

10 P2 カム本体側の電源を入れ、P2 カム本体側で、設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PLAYLIST] 項目を [ON] に設定する。

11 [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックし、接続状態を確認する



NOTE

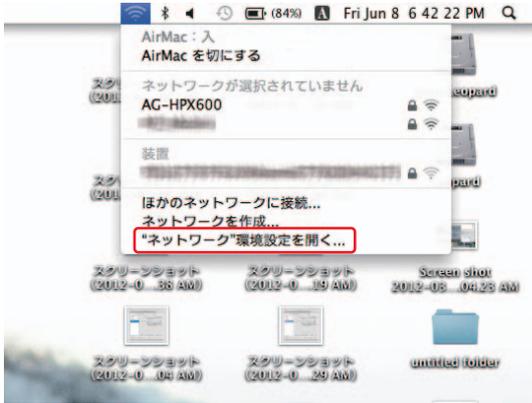
- P2 カム本体の電源を入れてから無線 LAN が動作するまで数秒かかりますので、接続状態のチェックはしばらく待ってから行ってください。
- 接続状態が制限付きアクセスと表示されることがありますが P2 カムとは正常に接続されています。
- P2 カム本体側の設定メニューの各項目は、「LAN 機能を動作させる」(12 ページ) を参照してください。

Mac OS X の設定をする

1 P2 カム本体の電源を入れ、P2 カム本体側で、設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PLAYLIST] 項目を [ON] に設定する。
[NETWORK ERROR] が表示されることがありますが問題ありません。

2 メニューバーの AirMac の状況アイコンから、[ネットワーク環境設定を開く...] をクリックする

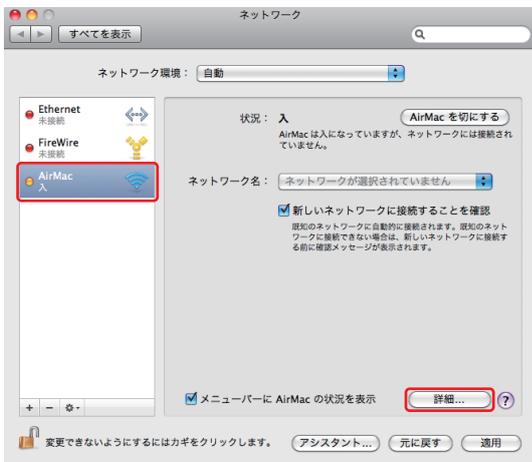
アイコンがメニューバーに表示されていないときは、[アップル] メニュー-[システム環境設定]をクリックして、[ネットワーク]をクリックします。



NOTE

・文中の「AirMac」表示は、ご使用される Mac OS によっては、[Wi-Fi] と表示されます。

3 サービスから AirMac を選択し、右下の [メニューバーに AirMac の状況を表示] の [詳細...] をクリックする



・詳細項目から TCP/IP を選択します。

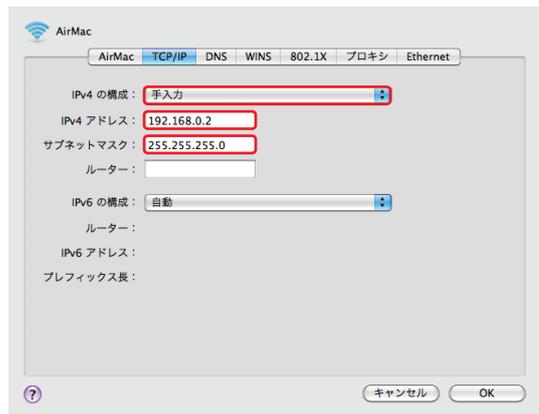
4 P2 カムの [DHCP SERVER] 設定 (11 ページ) に応じてどちらかの設定を行う

- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [ENABLE] の場合
- ・ [IPv4 の構成] : [DHCP サーバを使用] を選択します。
- ・ [IPv6 の構成] : [自動] を選択します。



■ P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [DISABLE] の場合

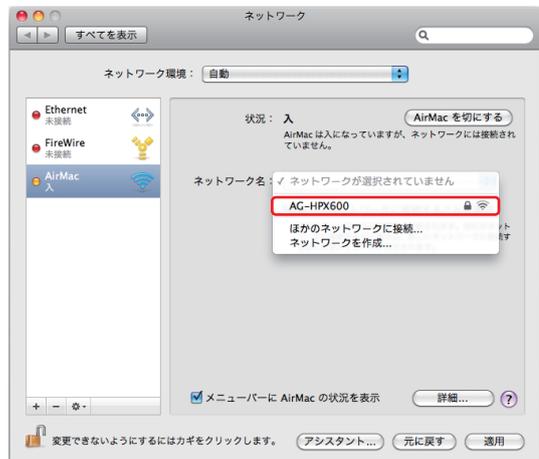
- ・ [IPv4 の構成] : [手入力] を選択し、下記設定を入力します。
- [IPv4 アドレス] :
[ネットワークアドレス] : P2 カム本体と同じアドレス
[ホストアドレス] : P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
- [サブネットマスク] : P2 カム本体と同じ値
- [ルーター] : 不要ですので、空欄のままとしてください。
- ・ [IPv6 の構成] : [自動] を選択します。



5 [ネットワーク名] 項目で対象ネットワーク (工場出荷設定 : AG-HPX600) を選択する

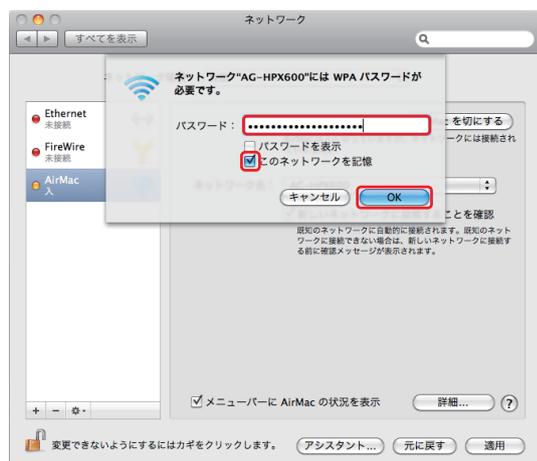
NOTE

- ・ [状況] が [切] の場合は [AirMac を入にする] をクリックして [状況] を [入] にしないとネットワーク選択できません。
- ・ 対象の P2 カムが [WLAN] の設定が有効で電源が入っていないと選択肢に現れません。

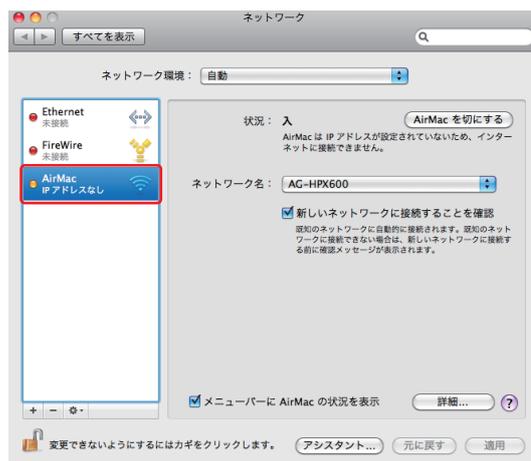


ネットワーク設定を行う

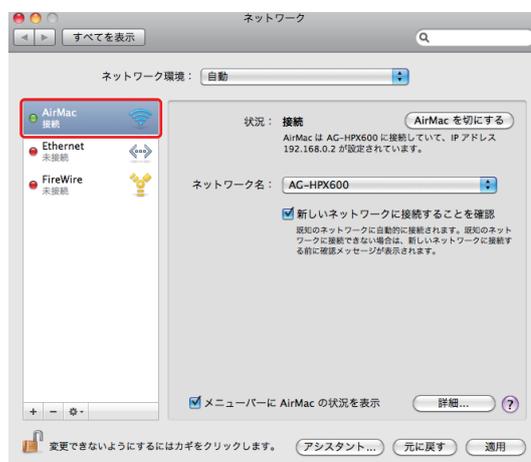
- 6** パスワード要求に対して、P2 カムで設定した WPA2 暗号化キー（工場出荷設定：01234567890123456789abcdef）を入力し、[このネットワークを記憶] にチェックを入れて [OK] をクリックする



- 7** 入状態から IP アドレスなしに状態が変化しますが、そのまましばらく（約 1～2分）待つ



- 8** 接続になるのを確認する



携帯端末（iPad）（無線 LAN 機能を使用し、DHCP により自動で IP アドレスを取得する場合）

- P2 カム本体の電源を入れ、P2 カム本体側で、設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PLAYLIST] 項目を [ON] に設定する。
[NETWORK ERROR] が表示されることがありますが問題ありません。
- トップ画面から [設定] - [Wi-Fi] - [ワイヤレスネットワークを選択...] を開き、P2 カムのネットワーク名が表示されていることを確認する
- 接続したい P2 カムのネットワーク名の右側の  ボタンをタップし、[IP アドレス] の [DHCP] を選択する



- 5** パスワード（工場出荷設定：01234567890123456789abcdef）を正確に入力し、[Join] をタップする

画面左上に Wi-Fi アイコン  が表示されれば接続完了です。



- 4** [Wi-Fi ネットワーク] に戻って、鍵アイコンをタッチする

携帯端末 (iPad) (無線 LAN 機能を使用し、手動で IP アドレスを取得する場合)

1 トップ画面から [設定] - [Wi-Fi] - [ワイヤレスネットワークを選択 ...] を開き、P2 カムのネットワーク名が表示されていることを確認する

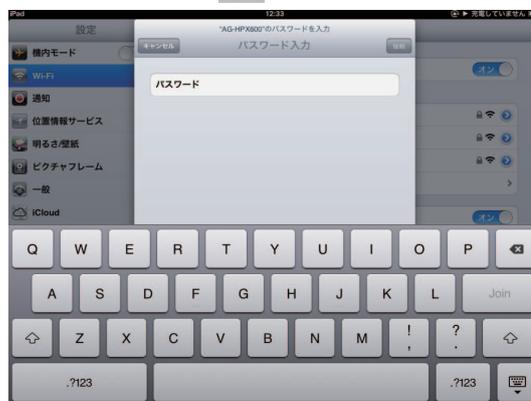
2 接続したい P2 カムのネットワーク名の右側の [i] ボタンをタップし、[IP アドレス] の [静的] を選択する



4 [Wi-Fi ネットワーク] に戻る

5 パスワード (工場出荷設定: 01234567890123456789abcdef) を正確に入力し、[Join] をタップする

画面左上に Wi-Fi アイコン  が表示されれば接続完了です。



3 ネットワーク設定をする

以下の 5 項目の設定欄がありますが、[IP アドレス] と [サブネットマスク] の 2 項目のみ設定します。

- [IP アドレス]
iPad に割り当てるものです。下記設定を入力します。
[ネットワークアドレス]: P2 カム本体と同じアドレス
[ホストアドレス]: P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
- [サブネットマスク]
P2 カム本体と同じ値を設定してください。
- [ルーター] (アドレス)
必要ありませんので、空欄のままとしてください。
- [DNS] (アドレス)
必要ありませんので、空欄のままとしてください。
- [検索ドメイン]
必要ありませんので、空欄のままとしてください。

パーソナルコンピューターの有線 LAN 設定をする

P2 カムと有線 LAN で接続する場合、接続するパーソナルコンピューターの有線 LAN の設定を行います。

NOTE

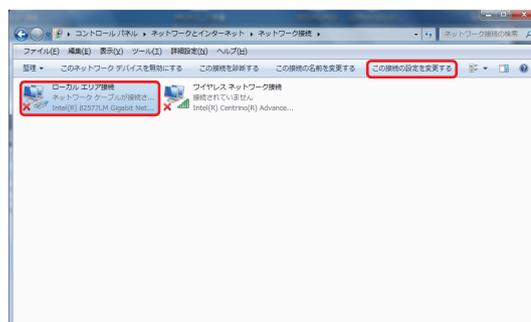
- パーソナルコンピューターが有線 LAN 接続可能な状態であることを確認してください。確認方法は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。

Windows の設定をする

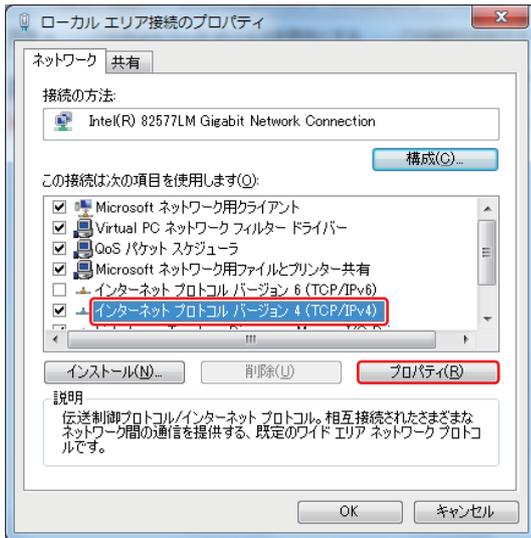
1 Windows の [ネットワークと共有センター] 画面を表示する
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] の順にクリックしてください。

2 [アダプターの設定の変更] をクリックする

3 ローカルエリア接続を選択し、[この接続の設定を変更する] コマンドを選択する



4 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] をクリックする



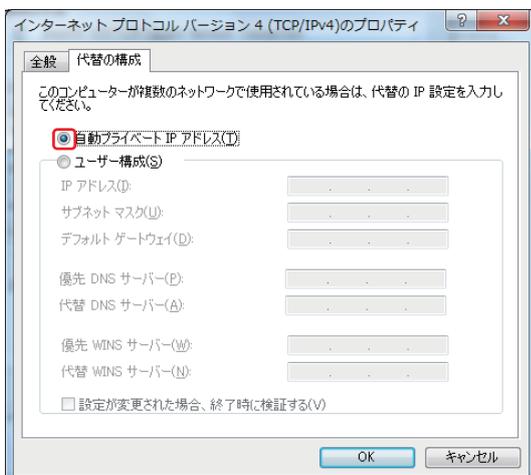
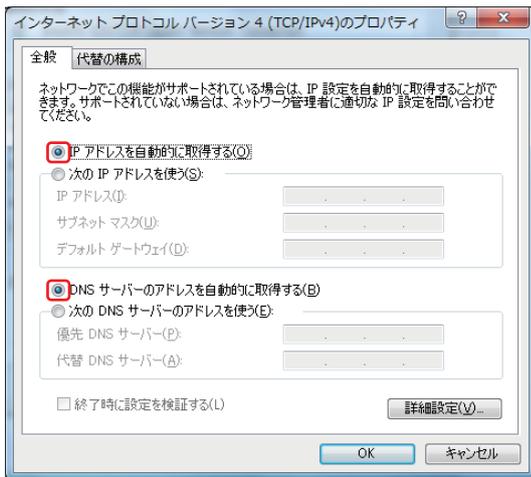
- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [DISABLE] の場合
- [全般] タブ: [次の IP アドレスを使う] を選択し、下記設定を入力します。
 - [IP アドレス]: [ネットワークアドレス]: P2 カム本体と同じアドレス
[ホストアドレス]: P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
 - [サブネットマスク]: P2 カム本体と同じ値
- [デフォルトゲートウェイ]、[優先 DNS サーバー]、[代替 DNS サーバー] は必要ありませんので、空欄のままとしてください。

6 [OK] をクリックしてから、[閉じる] をクリックする

7 P2 カム本体とパーソナルコンピュータをネットワークケーブルで接続し、P2 カム本体の電源を入れる

5 P2 カムの [DHCP SERVER] の設定 (11 ページ) に応じてどちらかの設定を行う

- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [ENABLE] の場合
- [全般] タブ: [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーを自動的に取得する] を選択します。
- [代替の構成] タブ: [自動プライベート IP アドレス] を選択します。



Mac OS X の設定をする

1 [アップル]メニュー-[システム環境設定]をクリックして、[ネットワーク]をクリックする

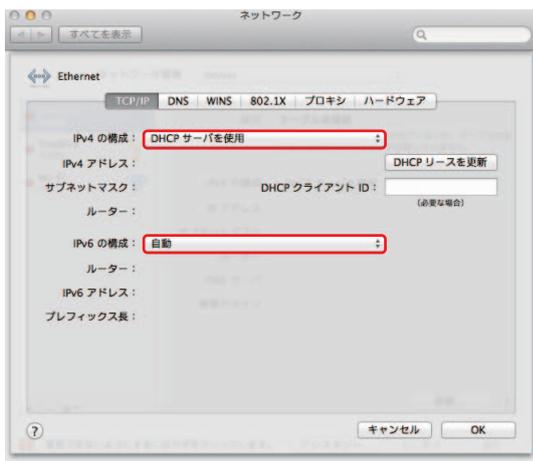


2 サービスから [Ethernet] を選択し、右下の [詳細...] をクリックする



3 P2 カムの [DHCP SERVER] 設定 (11 ページ) に応じてどちらかの設定を行う

- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [ENABLE] の場合
 - [IPv4 の構成] : [DHCP サーバを使用] を選択します。
 - [IPv6 の構成] : [自動] を選択します。

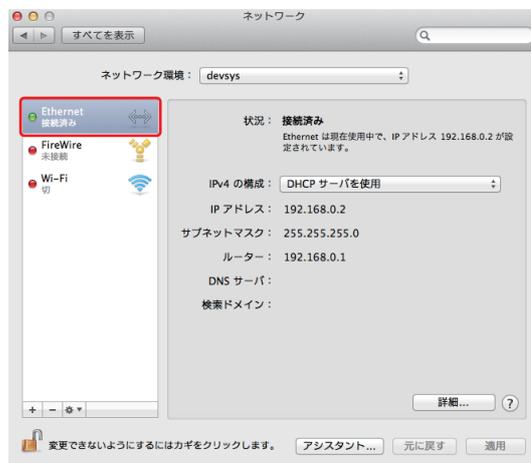


- P2 カムの [DHCP SERVER] の設定が [DISABLE] の場合
 - [IPv4 の構成] : [手入力] を選択し、下記設定を入力します。
 - [IPv4 アドレス] : [ネットワークアドレス] : P2 カム本体と同じアドレス
[ホストアドレス] : P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
 - [サブネットマスク] : P2 カム本体と同じ値
 - [ルーター] : 不要ですので、空欄のままとしてください。
 - [IPv6 の構成] : [自動] を選択します。



4 [OK] をクリックしてから、[適用] をクリックする

5 P2 カム本体と Mac をネットワークケーブルで接続し、P2 カム本体の電源を入れ、接続状態になるのを確認する



パーソナルコンピューター / iPad と接続する

Web ブラウザからアプリを起動する

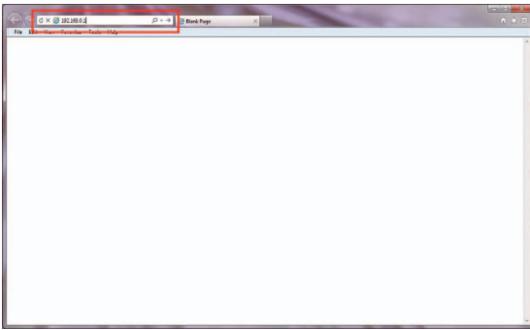
P2 カムとパーソナルコンピューター / iPad のネットワーク接続設定が完了したら、以下の手順で Web ブラウザを起動します。

1 Web ブラウザを起動する

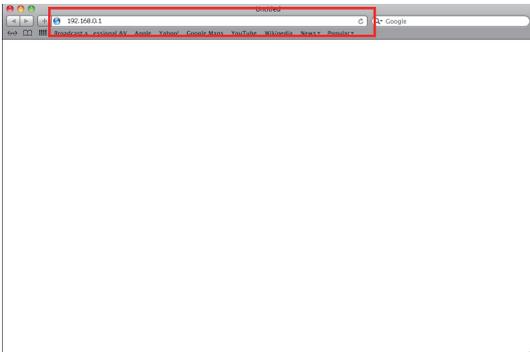
Windows 7 の場合：
 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Internet Explorer] をクリックします。
 Windows 8 の場合：
 [Internet Explorer] のアイコンをクリックします。
 Mac OS X の場合：
 [移動] - [アプリケーション] をクリックし、一覧から [Safari] をダブルクリックします。
 iPad の場合：
 ホーム画面にある [Safari] アイコンをタップします。

2 P2 カム本体に設定した P2 カム本体の IP アドレスを Web ブラウザのアドレス入力欄に入力する

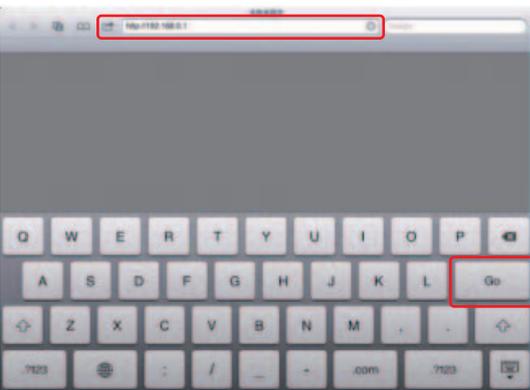
Web ブラウザの画面上部のアドレス入力欄に P2 カムで設定した IP アドレス（工場出荷設定：http://192.168.0.1）を入力し、P2 カムにアクセスします。
 Windows 7、Windows 8 Internet Explorer の画面



Mac Safari の画面



iPad Safari の画面



3 認証画面が表示されるので、P2 カム本体で設定したユーザー名とパスワードを入力する

端末がパーソナルコンピューターの場合は、Enter キーを押し、端末が iPad の場合は、ログインボタンをクリックまたはタップします。
 （工場出荷設定：ユーザー名：guest、パスワード：p2guest）
 Windows 7、Windows 8 Internet Explorer での認証画面



Mac Safari の認証画面

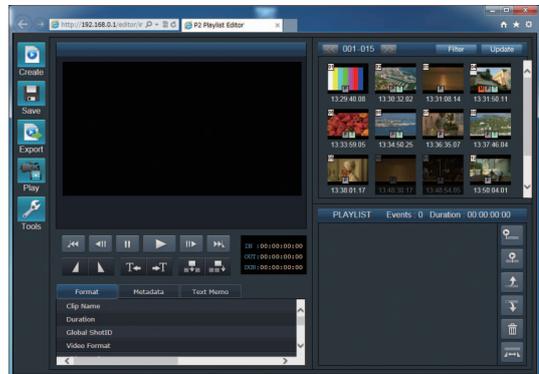


iPad Safari の認証画面



4 Web アプリ「P2 Playlist Editor」が起動する

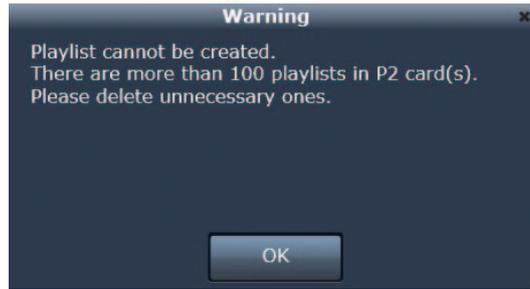
次のような画面が表示されます。



NOTE

- ・プレイリスト編集機能動作時に同時に接続できるクライアントの数は 1 台のみです。

- プレイリスト編集 Web アプリが起動した時点で、P2 カムに挿入されている P2 カードに保存されているプレイリストファイルの合計が 100 個を超えていた場合は、次のようなワーニングダイアログが表示されます。



- プレイリスト編集 Web アプリでは、P2 カードに保存されているプレイリストファイルの合計が 100 を超えている場合、新しいプレイリストファイルを P2 カードに保存することができません。ワーニングが表示された場合は、「プレイリストファイルを削除する」(35 ページ) の機能を使って P2 カードに保存されたプレイリストファイルを削除し、P2 カードに保存されているプレイリストファイルの合計を 100 個以下にすることをおすすめします。
- プレイリストを削除しなくても、プレイリスト編集 Web アプリでプレイリストの作成をすすめることは可能ですが、作成したプレイリストの保存はできません。
- プレイリスト編集作業の保存をせずに Web アプリの終了や再起動を行ったなど、プレイリスト編集 Web アプリを起動したときに端末側ブラウザにプレイリスト編集途中の状態が残っている場合、次のダイアログが表示されます。



作業途中のデータを復元する場合、[Restore] をタップまたはクリックしてください。データを破棄する場合、[Discard] をタップまたはクリックしてください。プレイリスト編集 Web アプリを終了する場合、プレイリストの保存をおすすめします。

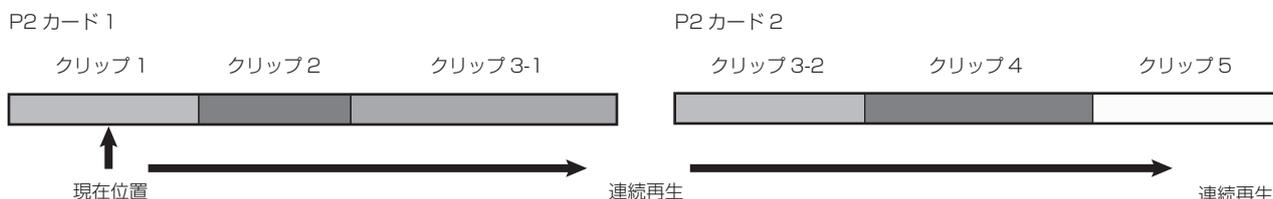
プレイリストを作成する

プレイリスト編集機能

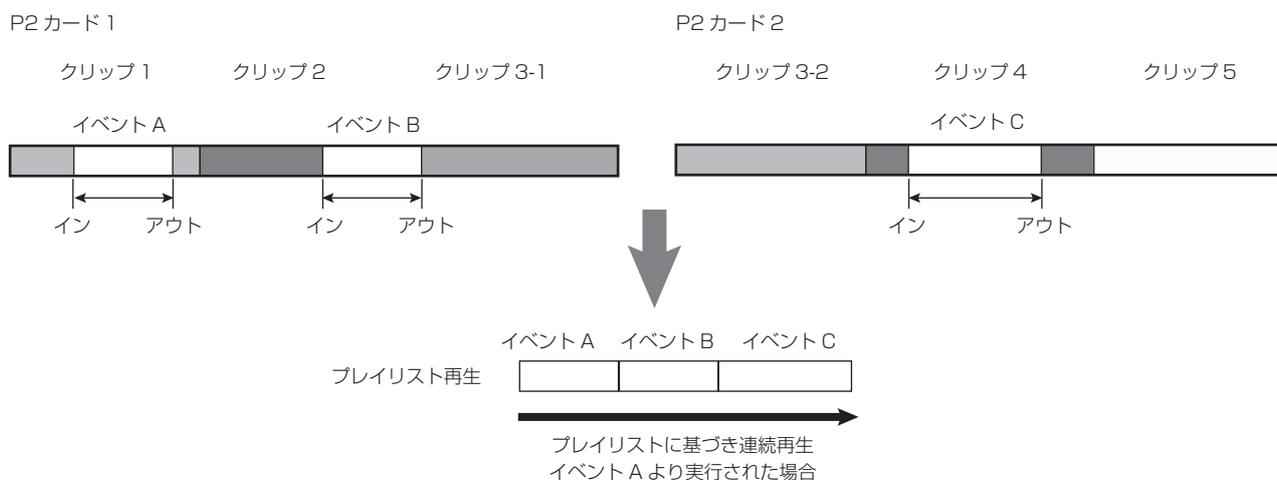
プレイリストについて

本機能では P2 カードに記録されたクリップの再生したい映像をつなぎ合わせて再生リストを作成し、そのリストに従って再生を行うことで編集後の再生状態を実現します。この再生したい映像の単位をイベントといい、そのイベントをつなぎ合わせて作成した再生リストをプレイリストといいます。クリップを直接操作しないため、編集結果をすぐに確認することができます。

P2 カム本体での通常の再生では、再生を開始した位置から最後のクリップまでが連続して再生されます。



プレイリストの再生では、クリップの必要な部分だけを連続再生します。



本機能では、このプレイリストを作成します。

■ 登録できるイベントの記録フォーマットおよび記録コマ数について

プレイリストに登録できるイベントの記録フォーマットおよび記録コマ数は以下のものに限られます。

NTSC : 1080/59.94i, 1080/29.97P, 1080/29.97PN, 720/59.94P, 720/29.97P, 720/29.97PN

PAL : 1080/50i, 1080/25P, 1080/25PN, 720/50P, 720/25P, 720/25PN

記録フォーマット : DVCPRO HD, AVC-I 50, AVC-I 100

NOTE

- P2 カードにプロキシーが記録されていない場合は、本機能でイベントの開始地点と終了地点を設定することができません。ビデオエンコーダーボード (AG-YDX600G 別売) を搭載し、プロキシーを記録する設定を行ってください。
- 本機能で作成するプレイリストでは、クリップの映像部分の範囲指定と音声部分の範囲指定を別個に行うことはできません。
- ひとつのプレイリストに含めることのできるイベントの最大数は 100 個です。
- プレイリストに登録されるイベントは、すべて同じ記録フォーマットおよび記録コマ数で記録されたものである必要があります。
- プレイリストに登録されるイベントの記録フォーマットおよび記録コマ数は、プレイリスト編集機能を動作させる直前に P2 カムで設定されていた記録フォーマットおよび記録コマ数と一致している必要があります。
- プレイリストを作成できるデュレーションは最大 24 時間です。フォーマットが 720/59.94P および 720/50P のときは、イベントのイン、アウトとして指定できるのはタイムコードの単位までとなります。
- Internet Explorer では、一部のプロキシー (SHQ 2CH MOV, STD 2CH MP4) を再生できません。[Unsupported Proxy Format] などのメッセージが表示される場合があります。イン点、アウト点の位置を変更することはできませんが、イベントをプレイリストに追加することはできます。

プレイリスト編集機能を動作させる

P2 カムの設定メニューの [PC/USB/LAN] 画面の [PLAYLIST] 項目を [ON] に設定します。P2 カム本体側の設定メニューの各項目は、「LAN 機能を動作させる」(12 ページ) を参照してください。

NOTE

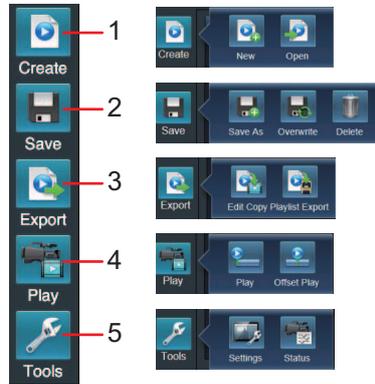
- プレイリスト編集機能の動作中は、挿入された P2 カードのアクセス LED は常にアクセス中となり P2 カムから P2 カードを抜くことはできません。ただし、プレイリスト編集機能の動作中に P2 カムに P2 カードを挿入することは可能です。
- microP2 カードの CPS 機能で暗号化されたカードで、手動認証されたものについてはプレイリスト編集機能では利用できません。自動認証設定で認証が行われるようにしてください。

プレイリストを作成する

- P2 カムの〈USER〉ボタン (〈USER MAIN〉 / 〈USER1〉 / 〈USER2〉) に [PLAYLIST] を割り当てることにより、〈USER〉ボタンでプレイリスト編集機能を切り替えることができます。
〈USER〉ボタンへの機能割り当ての詳細な方法については、AG-HPX600 シリーズの取扱説明書を参照してください。
- プレイリスト編集機能の動作中は、〈USER〉ボタンに「プレイリスト編集機能の動作切り替え」を割り当てている場合の〈USER〉ボタンを除き、P2 カムのボタン操作は一切受け付けられません。プレイリスト編集機能の動作中は P2 カムの〈REC〉ボタンを押したとしても映像記録動作は行われません。プレイリスト編集以外の動作を行いたい場合は、プレイリスト編集機能を終了してください。(詳しくは「プレイリスト編集機能を終了する」(40 ページ) を参照してください。)

プレイリスト編集 Web アプリの画面各部の名称とはたらき

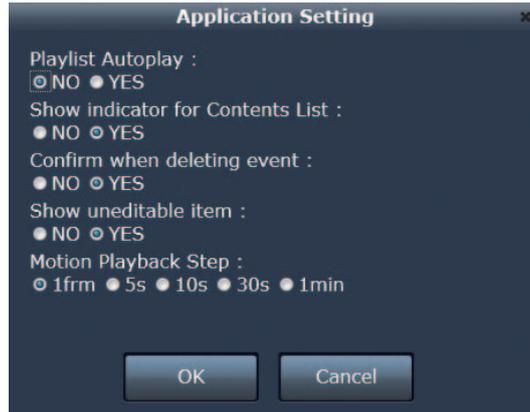
[Menu] パネル



- 1 [Create]**
プレイリストの作成を行うためのボタンです。本ボタンをクリックまたはタップすると、以下のサブボタンが表示されます。
 - [New]: プレイリストの新規作成を行います。本ボタンをクリックまたはタップすると、それまでに作成されたプレイリストは破棄されます。
 - [Open]: P2 カード内に保存されたプレイリストファイルを読み込みます。
詳しくは「プレイリストファイルを開く」(35 ページ) を参照してください。
- 2 [Save]**
プレイリストの保存および削除を行うためのボタンです。本ボタンをクリックまたはタップすると、以下のサブボタンが表示されます。
 - [Save As]: プレイリストに新しい名前を付けて P2 カードへと保存します。
詳しくは「プレイリストを P2 カードに保存する」(34 ページ) を参照してください。
 - [Overwrite]: プレイリストの上書き保存を行います。
詳しくは「プレイリストを P2 カードに保存する」(34 ページ) を参照してください。
 - [Delete]: P2 カード内に保存されているプレイリストファイルの削除を行います。
詳しくは「プレイリストファイルを削除する」(35 ページ) を参照してください。
- 3 [Export]**
エディットコピーおよびプレイリストのエクスポートを行うためのボタンです。本ボタンをクリックまたはタップすると、以下のサブボタンが表示されます。
 - [Edit Copy]: プレイリストをもとにして、エディットコピーを行います。
詳しくは「プレイリストから新しいクリップを作成する (エディットコピー)」(38 ページ) を参照してください。
 - [Playlist Export]: プレイリストをもとにして、プレイリストのエクスポートを行います。
詳しくは「プレイリストをエクスポートする」(39 ページ) を参照してください。
- 4 [Play]**
プレイリストを P2 カムで再生するためのボタンです。本ボタンをクリックまたはタップすると、以下のサブボタンが表示されます。
 - [Play]: プレイリストの内容を最初から P2 カムで再生します。
詳しくは「プレイリストを P2 カムで再生する」(37 ページ) を参照してください。
 - [Offset Play]: プレイリスト内の再生開始位置を指定して、P2 カムで再生します。
詳しくは「プレイリストを P2 カムで再生する」(37 ページ) を参照してください。
- 5 [Tools]**
プレイリスト編集 Web アプリの設定等を行うためのボタンです。本ボタンをクリックまたはタップすると、以下のサブボタンが表示されます。

プレイリストを作成する

-  [Settings] : プレイリスト編集 Web アプリの設定を行うためのダイアログを表示します。ダイアログでは、以下の項目を設定することができます。



- [Playlist Autoplay] :

YES	メニューで  [Play] をクリックまたはタップしたときに、P2 カムで自動的に再生が開始します。
NO	コントロールダイアログで再生ボタンをクリックまたはタップするまで、P2 カムでの再生は開始されません。

- [Show indicator for Contents List] :

YES	[Contents List] パネルでサムネイル画像の上に、ショットマークインジケータ、プロキシー付きクリップインジケータ、テキストメモインジケータ、エディットコピークリップインジケータを表示します。
NO	[Contents List] パネルでサムネイル画像の上にインジケータは表示しません

- [Confirm when deleting event] :

YES	プレイリストからイベントを削除するときに毎回確認ダイアログを表示します。
NO	プレイリストからイベントを削除するときに確認ダイアログを表示しません。

- [Show uneditable item] :

YES	プレイリストに入れることのできないクリップ（フォーマットが現在のカメラの設定と一致していないなどの理由があります。例えば、カメラの設定が NTSC で、クリップが PAL で記録されている場合など）を [Contents List] パネルに表示します。
NO	プレイリストに入れることのできないクリップを [Contents List] パネルに表示しません。

- [Motion Playback Step] :

パネルでコマ戻しボタン  およびコマ送りボタン  をクリックまたはタップしたときに映像の再生位置がジャンプする幅を設定することができます。設定は、[1frm]、[5s]、[10s]、[30s]、[1min] から選択できます。

-  [Status] : P2 カムの設定を確認するためのダイアログを表示します。ダイアログでは、以下の項目を確認することができます。



- [System Mode] : P2 カムの信号フォーマットです。
- [Rec Format] : P2 カムの記録のコーデックおよび撮影と記録のモードです。
- [Camera Mode] : P2 カムのカメラ撮影モードです。
- [TC Mode] : P2 カムのタイムコードジェネレーターのカウンタ補正モードです。

[Contents List] パネル



[Contents List] パネルには、P2 カード内に記録されたクリップのサムネイル画像が表示されます。

表示されるクリップは、最大で 300 クリップで、100 クリップごとに区切って表示されます。また、クリップは、撮影日時の古い順に表示されます。

1 クリップ番号

P2 カードに正しく認識されているすべてのクリップに、P2 カムが設定した番号です。番号は撮影日時が早い順に割り振られます。表示絞り込みなどを行った場合、対象のクリップの番号のみ表示されますので、番号が連続しない場合があります。

2 100 クリップページ送り / 戻しボタン

本ボタンをクリックまたはタップすることで、100 クリップごとに区切られて表示されているクリップを次の 100 クリップへ送るまたは戻すことができます。

3 表示絞り込みボタン

本ボタンをクリックまたはタップすることにより、[Contents List] に表示するクリップの条件を指定するためのダイアログを表示します。



[Contents List] に表示するクリップの条件には次のいずれかを選択することができます。

[ALL] :

P2 カードに正しく認識されているすべてのクリップを表示します。

[Shots with Proxy Video Only] :

プロキシ付きクリップインジケータのついたサムネイルのみを表示します。

[Shots with Shot Mark Only] :

ショットマークインジケータのついたサムネイルのみを表示します。

[Shots with Text Memo Only] :

テキストメモインジケータのついたサムネイルのみを表示します。

[Shots made by Edit Copy Only] :

エディットコピークリップインジケータのついたサムネイルのみを表示します。

[Specify P2Card Slot] :

指定された P2 カムのスロット番号に挿入された P2 カード内に記録されたクリップのみを表示します。

4 表示更新ボタン

通信状態が悪い時に P2 カード内に記録されたクリップのサムネイル画像が表示されなかった場合や、P2 カムでプレイリスト編集機能を動作させた後で P2 カードを挿入した場合に本ボタンをクリックまたはタップすることで、[Contents List] の表示を更新することができます。

5 エディットコピーインジケータ

エディットコピーによって生成されたクリップに表示します。

6 テキストメモインジケータ

テキストメモデータがあるクリップに表示されます。

7 ショットマークインジケータ

サムネイルにショットマークが付加されたクリップに表示します。

8 プロキシ付きクリップインジケータ

プロキシが付加記録されているクリップに表示します。

9 サムネール画像

P2 カード内に記録されたクリップのサムネール画像が表示されます。プロキシー付きクリップインジケータのついたサムネールをクリックまたはタップして選択すると、[Player] パネルでプロキシー映像を再生することができます。プロキシー付きクリップインジケータが表示されていないクリップの場合は [Player] パネルに黒い画面が表示されます。なお、プロキシー付きクリップインジケータのついたサムネールであっても、プレイリスト編集機能を動作させる直前に P2 カムに設定されていた記録フォーマットおよび記録コマ数と一致しないクリップを選択することはできません。選択できないクリップのサムネール画像は、輝度を落として表示されます。

10 タイムコード

クリップの記録開始時点のタイムコード (TC) を表示します。



NOTE

- 記録中に電源が切れるなどの原因で記録に不具合のあるクリップは、[Contents List] には表示されません。

[Player] パネル



[Player]パネルには、[Contents List]パネルで選択されたクリップのプロキシ映像およびその再生やスキップを行うためのボタンが表示されます。また、プレイリストのプレビューを行う場合には、プレビューの再生映像およびその再生を制御するためのボタンが表示されます。

- 1 **再生画面**
クリップのプロキシ映像またはプレイリストのプレビュー映像を表示します。
- 2 **プレーヤーステータス**
[Contents List] パネルで選択されたクリップの再生を行っているときは [CLIP]、プレイリストのプレビューを行っているときは [PLAYLIST] という文字を表示することで、再生画面に表示されている映像の種類を表しています。
- 3 **一時停止ボタン**
再生中にクリックまたはタップすると、再生画面の映像再生が一時停止します。
- 4 **イン点・アウト点ジャンプボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすることで、再生位置をイン点およびアウト点に移動させることができます。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
- 5 **コマ送り / コマ戻しボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすることで、再生位置を 1 フレーム前後に移動させることができます。移動する量は 1 フレーム以外にも 5 秒、10 秒、30 秒、1 分を設定することができます。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
詳しくは「[Motion Playback Step] : 」(24 ページ) を参照してください。
- 6 **シークバー**
プロキシ映像の再生位置を表示します。スライダーを移動させることにより、任意の地点に再生位置を移動することができます。▲は、その地点にテキストメモが付加されていることを表しています。また、▲はその地点にイン点が設定されていることを表し、▲はその地点にアウト点が設定されていることを表しています。なお、プレイリストのプレビューをする場合にはシークバーは表示されません。
- 7 **再生ボタン**
再生の停止中にクリックまたはタップすると、再生画面で映像の再生が開始されます。
- 8 **イン点指定ボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすることで、イベントの開始位置 (イン点) を設定します。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
- 9 **アウト点指定ボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすることで、イベントの終了位置 (アウト点) を設定します。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
- 10 **テキストメモジャンプボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすることで、現在の再生位置から最も近いテキストメモが付加された地点へと再生位置を移動させることができます。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
- 11 **イベント追加ボタン (プレイリスト途中)**
イン点とアウト点による範囲指定で決定されたイベントを、プレイリストに追加します。なお、プレイリストのプレビューをする場合には表示されません。
詳しくは「プレイリストへの登録」(31 ページ) を参照してください。
- 12 **イベント追加ボタン (プレイリスト末尾)**

NOTE

- ・プロキシ映像が付いていないクリップを選択した場合、再生を行い、イン点、アウト点の位置を変更することはできませんが、イベントをプレイリストに追加することはできます。
- ・Internet Explorer では、一部のプロキシ (SHQ 2CH MOV, STD 2CH MP4) を再生できません。イン点、アウト点の位置を変更することはできませんが、イベントをプレイリストに追加することはできます。
- ・テキストメモジャンプボタンは、一時停止中に操作を行ってください。再生中に操作を行うと正しくジャンプができない場合があります。

[Metadata] パネル

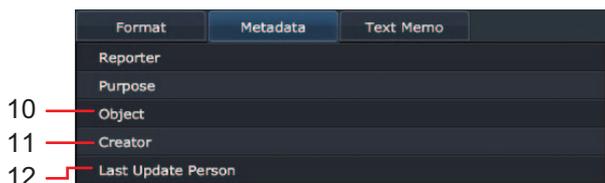
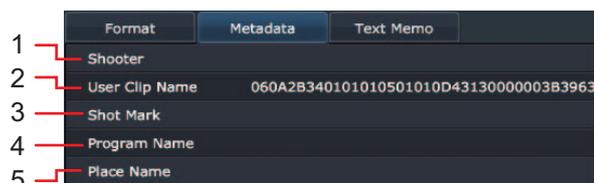
[Contents List] パネルで選択されたクリップの各種メタデータが表示されます。メタデータは、[Format]、[Metadata]、[TextMemo] の3つのタブにわけて表示されます。編集できる項目については各項目の説明に記載します。設定したい内容を入力し、[OK] をクリックまたはタップしてください。

■ [Format] タブ

	Format	Metadata	Text Memo
1	First Clip Name	0004TO	
2	Number Of Clips	1	
3	Duration	00:00:14.03	
4	Global Clip ID	060A2B340101010501010D431300000029A65E	
5	Video Format	MXF	
	Video Format	MXF	
6	Video Codec	AVC-I_1080/59.94i	
7	Video Frame Rate	59.94i	
8	Start Timecode	13:31:50.11	
9	Start UB	270F6003	
	Start Timecode	13:31:50.11	
	Start UB	270F6003	
10	Audio Channels	4	
11	Audio Format	MXF	
12	Audio Sampling Rate	48000	

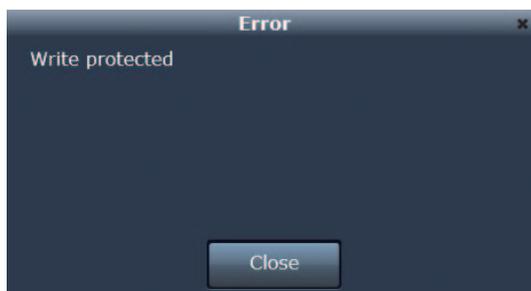
- 1 **[First Clip Name]**
選択されたクリップの P2 カード内での先頭のファイル名を表示します。
- 2 **[Number Of Clips]**
選択されたクリップの P2 カード内でのファイルの個数を表示します。
- 3 **[Duration]**
選択されたクリップのデュレーションを表示します。
- 4 **[Global Clip ID]**
選択されたクリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。
- 5 **[Video Format]**
選択されたクリップのビデオフォーマット形式を表示します。
- 6 **[Video Codec]**
選択されたクリップのビデオコーデック情報を表示します。
- 7 **[Video Frame Rate]**
選択されたクリップのビデオフレームレート情報を表示します。
- 8 **[Start Timecode]**
選択されたクリップの記録開始時点のタイムコードを表示します。
- 9 **[Start UB]**
選択されたクリップの記録開始時点のユーザーズビットを表示します。
- 10 **[Audio Channels]**
選択されたクリップのオーディオチャンネル数を表示します。
- 11 **[Audio Format]**
選択されたクリップのオーディオフォーマット形式を表示します。
- 12 **[Audio Sampling Rate]**
選択されたクリップのオーディオサンプリングレート情報を表示します。

■ [Metadata] タブ

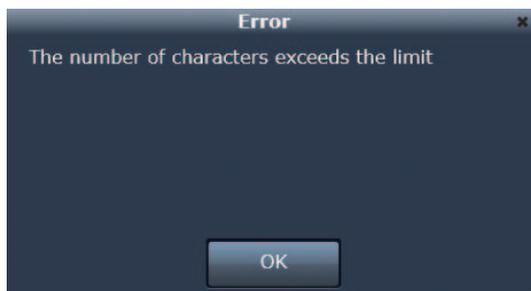


1 [Shooter]

選択されたクリップの撮影者名を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。P2 カードにライトプロテクトがかかっている場合は次のメッセージが表示されます。



英数字（半角）30 文字、日本語（全角）10 文字まで入力可能です。この制限を超えると次のメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。



2 [User Clip Name]

選択されたクリップのユーザークリップ名を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。

3 [Shot Mark]

選択されたクリップに OK カットや NG カットなどの区別を容易にするショットマークを付加することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。クリックまたはタップすることでオンまたはオフを変更することができます。

4 [Program Name]

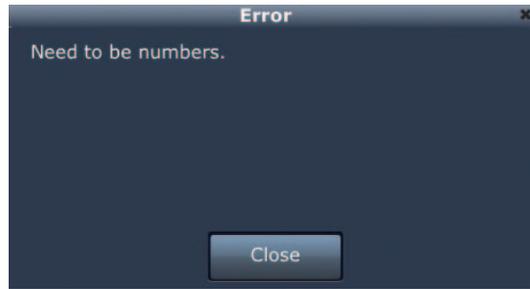
選択されたクリップのプログラム名を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。

5 [Place Name]

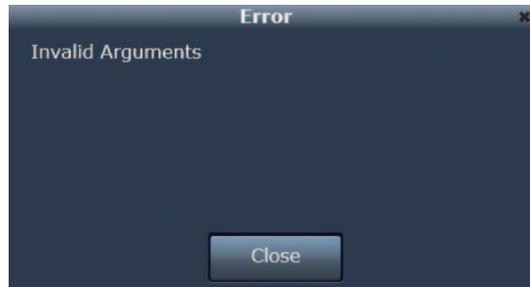
選択されたクリップの撮影地を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。

6 [Scene No.]

選択されたクリップのシーン番号を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。10 桁までの自然数が入力可能です。数字以外の文字を入れると次のエラーが表示されますので、数字を正しく入力してください。

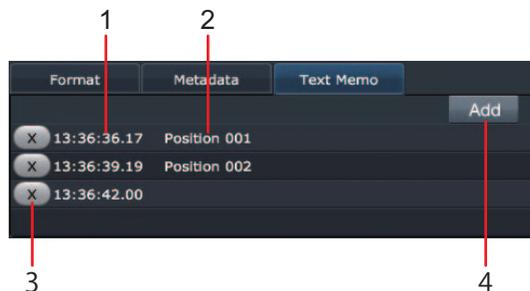


0 以下の数字や 11 桁以上の数字を入力すると次のメッセージが表示されますので、設定範囲内の値を入力してください。



- 7 **[Take No.]**
 選択されたクリップのテイク番号を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。数字以外の文字、0 以下の数字や 11 桁以上の数字を入力した場合は、「6：[Scene No.]」で説明したものと同一メッセージが表示されますので、同様の対応をしてください。
- 8 **[Reporter]**
 選択されたクリップのリポーター名を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）30 文字、日本語（全角）10 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。
- 9 **[Purpose]**
 選択されたクリップの取材目的を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）30 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。
- 10 **[Object]**
 選択されたクリップの取材対象を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）30 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。
- 11 **[Creator]**
 選択されたクリップの作成者を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）30 文字、日本語（全角）10 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。
- 12 **[Last Update Person]**
 選択されたクリップの最終更新者を表示します。クリックまたはタップすることで編集することができます。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）30 文字、日本語（全角）10 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。

■ **[TextMemo] タブ**



- 1 **テキストメモ付加位置のタイムコード**
 テキストメモが付加されたタイムコードの値を表示します。
- 2 **テキストメモ**
 テキストメモの内容が表示されます。
- 3 **削除ボタン**
 本ボタンをクリックまたはタップするとその欄のテキストメモを削除することができます。
- 4 **テキストメモ付加ボタン**
 本ボタンをクリックまたはタップすることで、[Player] パネルで現在再生しているクリップの再生位置に対して、新しいテキストメモを付加することができます。テキストメモには、英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字まで入力可能です。カードにライトプロテクトがかかっている場合は「1：[Shooter]」で説明したものと同一メッセージが表示されます。英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字を超えた場合も同様にメッセージが表示されますので、文字数を減らしてください。

[Playlist] パネル



[Player] パネルには、プレイリスト編集 Web アプリを使用して作成したプレイリストの内容が表示されます。

- 1 **イベント番号**
プレイリスト内での再生順番を表示します。本表示部分をクリックまたはタップすることで、プレイリスト内のイベントをひとつ選択することができます。
- 2 **クリップ番号**
イベントのもととなったクリップに P2 カムが設定した番号を表示します。この番号は、[Contents List] パネルで表示されるクリップ番号と一致しています。
- 3 **サムネイル画像**
イベントのもととなったクリップのサムネイル画像を表示します。
- 4 **選択範囲表示**
イベントのイン点およびアウト点のタイムコード、およびイベントのデュレーションを表示します。本表示部分をクリックまたはタップすることで、イベントのイン点およびアウト点を修正することができます。
詳しくは「登録イベントの修正」(32 ページ) を参照してください。
- 5 **プレビューボタン**
- 6 **開始位置指定付きプレビューボタン**
本ボタンをクリックまたはタップすると、[Player] パネルでプレイリストのプレビューを行うことができます。
詳しくは「プレイリストのプレビュー」(33 ページ) を参照してください。
- 7 **イベント順番繰り上げボタン**
- 8 **イベント順番繰り下げボタン**
イベントを選択した状態で本ボタンをクリックまたはタップすると、そのイベントのプレイリスト内での再生順番を移動させることができます。
- 9 **イベント削除ボタン**
イベントを選択した状態で本ボタンをクリックまたはタップすると、そのイベントをプレイリストから削除することができます。
- 10 **イベント再編集ボタン**
イベントを選択した状態で本ボタンをクリックまたはタップすると、そのクリップのイン点、アウト点を [Player] パネルで再編集することができます。ただし、プロキシの付いていないクリップは編集できません。

プレイリストへの登録



P2 カード内に記録されたクリップに対してイン点およびアウト点を指定し、プレイリストにイベントとして登録することができます。

1 [Contents List] パネルでクリップを選択する

選択したクリップが [Player] パネルに読み込まれ、関連するメタデータが [Metadata] パネルに読み込まれます。[Player] パネルのプレーヤーステータスは [CLIP] となります。

NOTE

- [Contents List] パネルでクリップを選択した直後は、イン点はクリップの先頭、アウト点はクリップの末尾に設定された状態となっています。

2 [Player] パネルでクリップの再生を開始する

再生ボタン  をクリックまたはタップして、[Player] パネルでクリップの再生を行います。再生中にシークバー上のスライダーを移動させることで、再生位置を任意の地点に移動させることもできます。

NOTE

- クリップが P2 カード内で複数の映像ファイルから構成されている場合、ファイルの境界で数秒間再生が停止することがあります。

3 イベントの開始位置としたい地点がプレーヤーで表示されているときに、イン点指定ボタン をクリックまたはタップする

シークバー上で  が移動し、イン点が設定されます。イン点は何度でも設定しなおすことができます。ただし、アウト点よりも後の地点にイン点を設定することはできません。

4 イベントの終了位置としたい地点がプレーヤーで表示されているときに、アウト点指定ボタン をクリックまたはタップする

シークバー上で  が移動し、アウト点が設定されます。アウト点は何度でも設定しなおすことができます。ただし、イン点よりも前の地点にアウト点を設定することはできません。

5 イベント追加ボタン (プレイリスト末尾) をクリックまたはタップして、イベントをプレイリストに追加する

イベント追加ボタン (プレイリスト末尾)  をクリックまたはタップすると、手順 1 から手順 4 で設定したイベントが、プレイリストの末尾に追加されます。

NOTE

- イベント追加ボタン (プレイリスト途中)  をクリックまたはタップすることで、手順 1 から手順 4 で設定したイベントを、プレイリストの任意のイベント間に挿入することができます。その場合は、イベント追加ボタン (プレイリスト途中) をクリックまたはタップした後に、挿入したいイベントとイベントの間のスペースを [Playlist] パネルでクリックまたはタップしてください。

6 手順 4 から手順 5 を繰り返して、プレイリストを完成させる

登録イベントの修正



プレイリストに登録されたイベントのイン点およびアウト点の位置を設定しなおすことができます。

1 [Playlist] パネルで、登録されたイベントをクリックまたはタップし選択状態にして、イベント修正ボタン をクリックまたはタップする。

そのイベントを含むクリップが [Player] パネルに読み込まれ、現在設定されているイン点およびアウト点がシークバー上に表示されます。

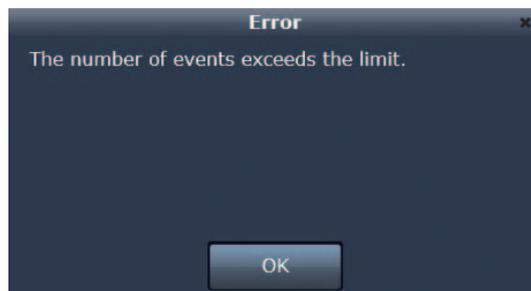
2 [Player] パネルで、イン指定ボタン およびアウト点指定ボタン を使ってイン点およびアウト点を設定しなおす

3 イベント再登録ボタン をクリックまたはタップする

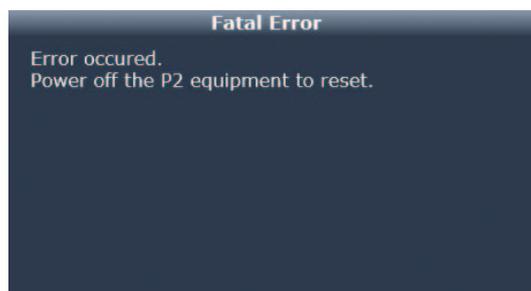
手順 1 で選択したイベントの範囲指定が更新され、[Playlist] パネルの表示に反映されます。

NOTE

- プレイリストに登録できるイベント数は、最大 100 です。ただし、各イベントのクリップ数 (P2 カード内での映像ファイル数) によっては、100 以下でも上限となる場合があります。上限となった場合は、次のエラーダイアログが表示されます。

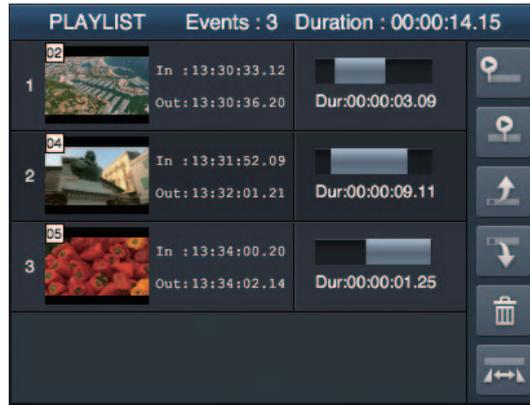


- プレイリスト編集機能の動作中は、P2 カムから P2 カードを抜くことはできません。P2 カードを抜いた場合は、次のエラーダイアログが表示されます。



カードを抜いてエラーとなった場合、そのまま編集作業を継続することはできませんが、作成中のプレイリストは、パーソナルコンピューターや携帯端末に一時的に保持されています。P2 カムを再起動しプレイリスト編集機能を有効にしてください。

プレイリストのプレビュー



以下の手順により、作成したプレイリストの内容を [Player] パネルでプレビューすることができます。

1 [Playlist] パネルのプレビューボタンををクリックまたはタップする

[Player] パネルのプレーヤーステータスは [PLAYLIST] となり、再生画面でプレイリストの内容が先頭から再生されます。

2 途中でプレビューを停止する場合は、[Player] パネルの停止ボタンをクリックまたはタップする

プレビューが停止し、[Player] パネルの再生画面は黒い画面になります。

NOTE

- プレビューボタンをクリックまたはタップしてから [Player] パネルで再生が開始するまでに、数秒の時間がかかることがあります。その間、[Player] パネルの再生画面は黒い画面になります。

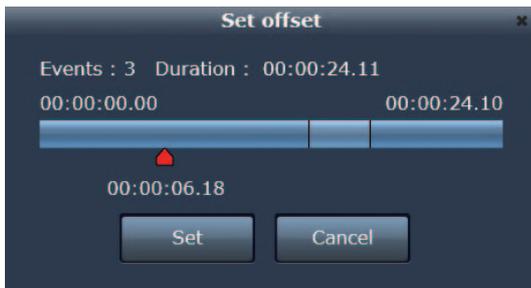
- プレイリストのプレビューでは、シークバーを使った再生位置の移動やコマ送り、一時停止などの操作はできません。プレイリストの特定の場所のみをプレビューしたい場合は、「再生開始位置を指定したプレイリストのプレビュー」(33 ページ)の機能をご使用ください。
- プレビューが終了した後は、続けて「プレイリストへの登録」(31 ページ)で説明した手順でプレイリストにイベントを追加することができます。[Contents List] パネルでクリップを選択すると、[Player] パネルのプレーヤーステータスは [CLIP] になります。

再生開始位置を指定したプレイリストのプレビュー

以下の手順により、作成したプレイリストの内容をプレビューするときに、再生開始位置を指定することができます。

1 [Playlist] パネルの開始位置指定付きプレビューボタンをクリックまたはタップする

[Player] パネルのプレーヤーステータスは [PLAYLIST] となり、再生開始位置指定ダイアログが表示されます。



2 再生開始位置指定ダイアログで、開始位置指定バーをクリックまたはタップして、どこからプレビューを開始するかを指定する

クリックまたはタップした位置に▲が移動します。プレイリスト内のイベントの区切りとデュレーションが図形で表示されているので、それを目安にして再生開始位置を指定することができます。

3 再生開始位置指定ダイアログで、[Set] をクリックまたはタップする

[Player] パネルの再生画面で、プレイリストの内容が指定された開始位置から再生されます。

4 途中でプレビューを停止する場合は、[Player] パネルの停止ボタンをクリックまたはタップする

プレビューが停止し、[Player] パネルの再生画面は黒い画面になります。

プレイリストを P2 カードに保存する

プレイリストを新規保存する

作成したプレイリストを P2 カムに挿入されている P2 カードにプレイリストファイルとして保存することができます。

NOTE

- P2 カムに挿入されている P2 カードに保存されているプレイリストファイルの合計が 100 個を超えている場合は、新しいプレイリストを保存することはできません。その場合は、「プレイリストファイルを削除する」(35 ページ)の機能を使用して P2 カードから不要なプレイリストを削除してください。
- microP2カードアダプター(AJ-P2AD1G など)と SDHC または SDXC の組み合わせに対して保存したプレイリストファイルについては、プレイリスト機能対応の P2 機器で読み出すことはできません。

1 [Menu] パネルの [Save] ボタン をクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

2 サブボタンの中から [Save As] ボタン をクリックまたはタップする

プレイリストファイルの保存先およびユーザープレイリスト名を入力するためのダイアログが表示されます。



3 プレイリストファイルの保存先とする P2 カムのスロット番号およびユーザープレイリスト名を入力する

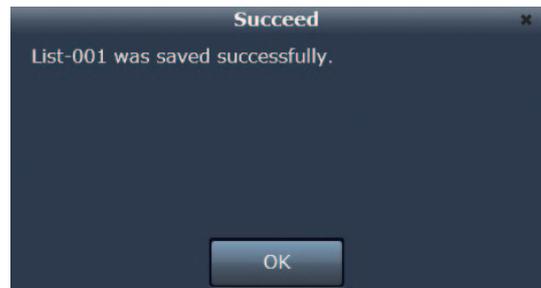
ユーザープレイリスト名には、英数字（半角）100 文字、日本語（全角）33 文字まで入力可能です。

NOTE

- プレイリストファイルは P2 カードの EDITLIST フォルダ内に作成されます。その時に使用されるファイル名は P2 カムによって自動的に生成され、変更することはできません。手順 3 で入力するユーザープレイリスト名は、プレイリストファイルの内部に記述される情報のひとつであり、P2 カード内でのファイル名とは関係がありません。また、パーソナルコンピューターなどでプレイリストファイルのファイル名を変更すると、読み込むことができなくなります。

4 [SAVE] をクリックまたはタップする

保存に成功すると、次のダイアログが表示されます。ダイアログには、P2 カード内にプレイリストファイルを保存するにあたって使用されたファイル名が表示されています。



プレイリストを上書き保存する

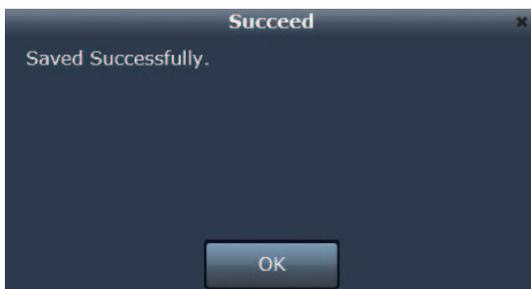
プレイリストファイルを読み込んで編集しているときや、すでにプレイリストを P2 カードに保存しているときは、以下の手順により上書き保存ができます。一度も保存していないときは、プレイリストを新規保存してください。

1 [Menu] パネルの [Save] ボタン をクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

2 サブボタンの中から [Overwrite] ボタン をクリックまたはタップする

保存に成功すると、次のダイアログが表示されます。ダイアログには、P2 カード内にプレイリストファイルを保存するにあたって使用されたファイル名が表示されています。



プレイリストファイルを削除する

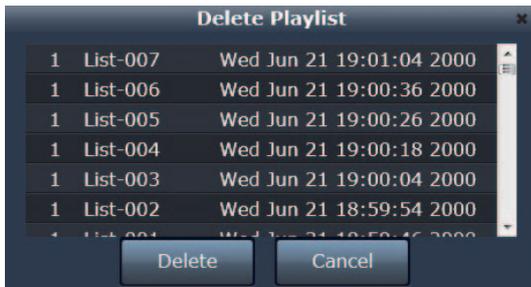
P2 カード内に保存されているプレイリストファイルを削除することができます。

- 1 [Menu] パネルの [Save] ボタン  をクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

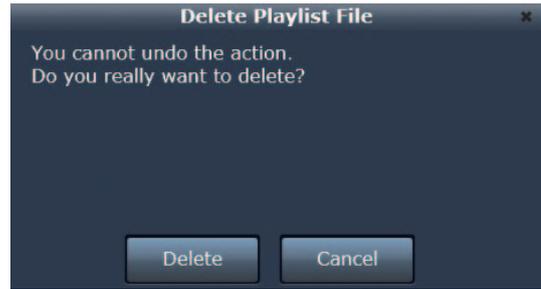
- 2 サブボタンの中から [Delete] ボタン  をクリックまたはタップする

プレイリストファイルの一覧が記載されたダイアログが表示されます。プレイリストファイルの一覧には、P2 カードに保存された各プレイリストファイルのスロット番号とユーザープレイリスト名と作成日時が表示されています。ユーザープレイリスト名が設定されていない場合は、空白が表示されます。



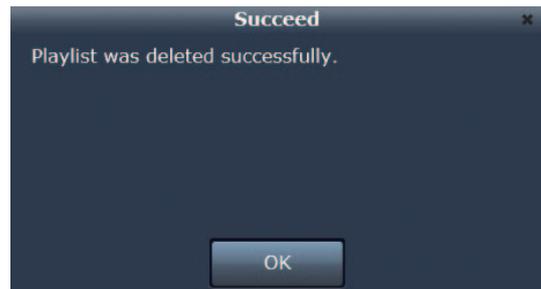
- 3 削除するプレイリストファイルをクリックまたはタップして選択し、[Delete] を押す

プレイリストを削除してよいか確認するダイアログが表示されます。



- 4 確認ダイアログの [Delete] をクリックまたはタップする

削除に成功すると次のメッセージが表示され、確認ダイアログは自動的に閉じます。



プレイリストファイルを開く

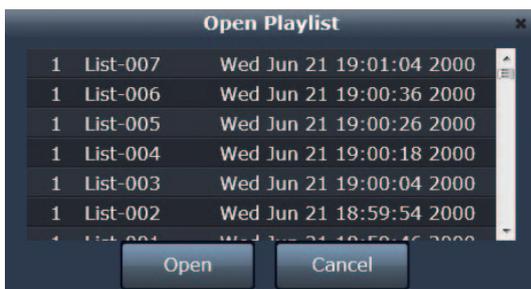
P2 カードに保存しているプレイリストファイルを読み込んで、現在作成中のプレイリストの内容と置き換えることができます。

- 1 [Menu] パネルの [Create] ボタン  をクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

- 2 サブボタンの中から [Open] ボタン  をクリックまたはタップする

プレイリストファイルの一覧が記載されたダイアログが表示されます。プレイリストファイルの一覧には、P2 カードに保存された各プレイリストファイルのスロット番号とユーザープレイリスト名と作成日時が表示されています。ユーザープレイリスト名が設定されていない場合は、P2 機器によって自動的に付与された名称が表示されます。

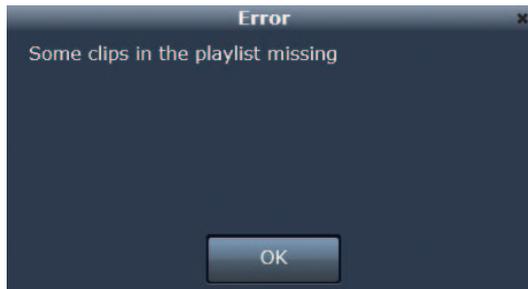


- 3 読み込むプレイリストファイルをクリックまたはタップして選択し、[Open] を押す

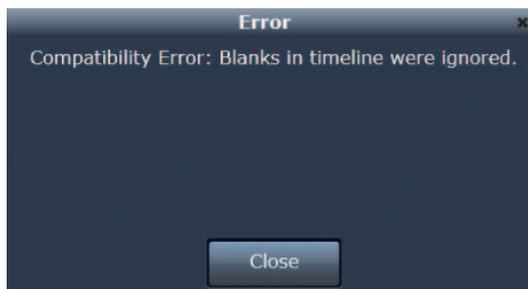
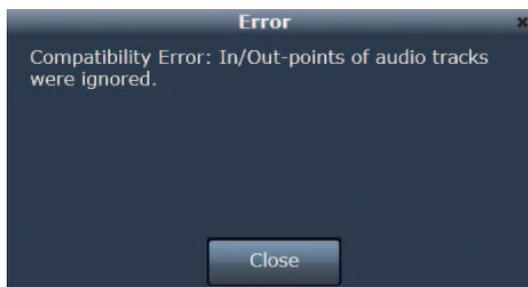
指定したプレイリストファイルが読み込まれ、[Playlist] パネルが更新されます。なお、[Player] パネルおよび [Metadata] パネルにはなにも読み込まれていない状態となります。

NOTE

- 読み込んだプレイリストに含まれるイベントの中に、プレイリスト編集機能を動作させる直前に P2 カムに設定されていた記録フォーマットおよび記録コマ数と一致しない記録フォーマットおよび記録コマ数で記録されたものがあつた場合は、プレイリストの読み込みに失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

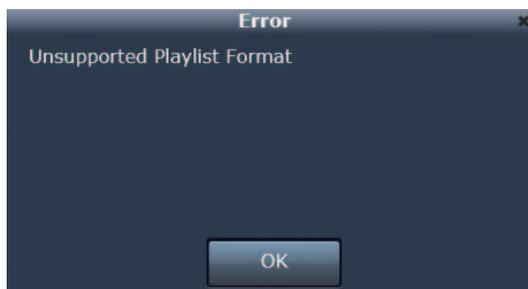


- AG-SFU604G のプレイリスト編集 Web アプリ以外で作成したプレイリストファイルを読み込んだとき、次のようなエラーとなる場合があります。
- AJ-HPM200/AJ-HPD2500 で作成したプレイリストファイルでは、ビデオトラックとオーディオトラックのイン点およびアウト点が揃っていないものや、1つのトラックのビデオとオーディオのクリップが異なるものを読み込んだ場合は、次のエラーメッセージが表示されます。



この場合、ビデオトラックのクリップのイン点およびアウト点が優先され、オーディオトラックのイン点およびアウト点は無視されます。また、オーディオレベル調整やオーディオチャンネルの入れ替えやボイスオーバーされたオーディオトラック情報、開始タイムコード設定は無視されます。

- AJ-SPD850/AJ-HPM100/AJ-HPM110/AJ-HPS1500 で作成したプレイリストファイルを読み込んだ場合、次のエラーメッセージが表示され、プレイリストの読み込みに失敗します。



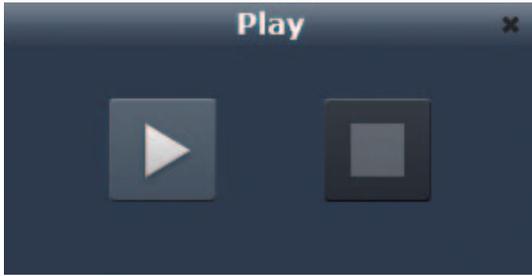
プレイリストを P2 カムで再生する

作成したプレイリストの内容を、P2 カムで再生することができます。再生映像は、P2 カムのビューファインダー、〈SDI OUT/IN (OP)〉 端子、〈MON OUT〉 端子、〈HDMI〉 端子からも出力されます。

プレイリストの先頭から P2 カムで再生する

プレイリストの内容を、先頭から P2 カムで再生することができます。

- 1 [Menu] パネルの [Play] ボタン  をクリックまたはタップする
クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。
- 2 サブボタンの中から [Play] ボタン  をクリックまたはタップする
P2 カムでの再生を制御するためのコントロールダイアログが表示されます。



- 3 コントロールダイアログの再生ボタンをクリックまたはタップする
プレイリストの内容が先頭から、P2 カムで再生されます。

NOTE

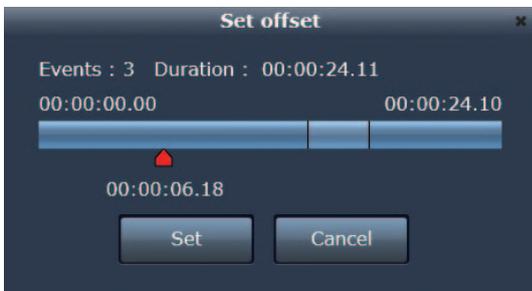
- [Menu] パネルの [Tools] の [Playlist Autoplay] を [YES] に設定している場合は、手順 3 を行わなくても P2 カムで再生が開始されます。
詳しくは「[Playlist Autoplay] : 」(24 ページ) を参照してください。

- 4 途中で再生を停止したい場合は、コントロールダイアログの停止ボタンをクリックまたはタップする
P2 カムでの再生が停止し、コントロールダイアログは自動的に閉じられます。
- 5 P2 カムでの再生が終了したら、コントロールダイアログの停止ボタンまたは [x] をクリックまたはタップしてコントロールダイアログを閉じる

再生開始位置を指定してプレイリストを P2 カムで再生する

プレイリストの内容を、再生開始位置を指定して P2 カムで再生することができます。

- 1 [Menu] パネルの [Play] ボタン  をクリックまたはタップする
クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。
- 2 サブボタンの中から [Offset Play] ボタン  をクリックまたはタップする
再生開始位置指定ダイアログが表示されます。



- 3 再生開始位置指定ダイアログで、開始位置指定バーをクリックまたはタップして、どこから再生を開始するかを指定する
クリックまたはタップした位置に  が移動します。プレイリスト内でのイベントの区切りとデュレーションが図形で表示されていますので、それを目安にして再生開始位置を指定することができます。

- 4 再生開始位置指定ダイアログで、[Set] をクリックまたはタップする
P2 カムでの再生を制御するためのコントロールダイアログが表示されます。
- 5 コントロールダイアログの再生ボタンをクリックまたはタップする
プレイリストの内容が、指定された開始位置から、P2 カムで再生されます。

NOTE

- [Menu] パネルの [Tools] の [Playlist Autoplay] を [YES] に設定している場合は、手順 5 を行わなくても P2 カムで再生が開始されます。
詳しくは「[Playlist Autoplay] : 」(24 ページ) を参照してください。

- 6 途中で再生を停止したい場合は、コントロールダイアログの停止ボタンをクリックまたはタップする
P2 カムでの再生が停止し、コントロールダイアログは自動的に閉じられます。
- 7 P2 カムでの再生が終了したら、コントロールダイアログの停止ボタンまたは [x] をクリックまたはタップしてコントロールダイアログを閉じる

NOTE

- プレイリスト再生時は、プレイリストの先頭フレームを 00:00:00:00 とする連続したタイムコードに置き換えて出力します。
- イベント間のオーディオはボリュームフェード処理を行って出力します。
- P2 カムでプレイリストの再生中にコントロールダイアログを [x] を使用して閉じた場合は、自動的に P2 カムでのプレイリスト再生も停止します。
- P2 カムでプレイリストの再生中に P2 カムの 〈STOP〉 (停止) ボタンを押すと、プレイリストの再生は停止します。〈◀◀/REW〉 (早戻し) ボタンや 〈FF/▶▶〉 (早送り) ボタンといった、〈STOP〉 (停止) ボタン以外の操作は無効です。

プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）

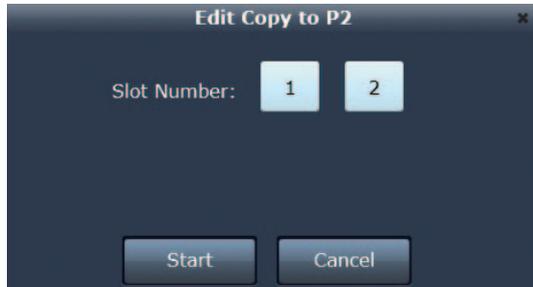
プレイリストを元に、新たに1つのクリップを作成することができます。この機能をエディットコピーと呼びます。本プレイリスト編集 Web アプリではエディットコピーを行うことができます。

1 [Menu] パネルの [Export] ボタンをクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

2 サブボタンの中から [Edit Copy] ボタンをクリックまたはタップする

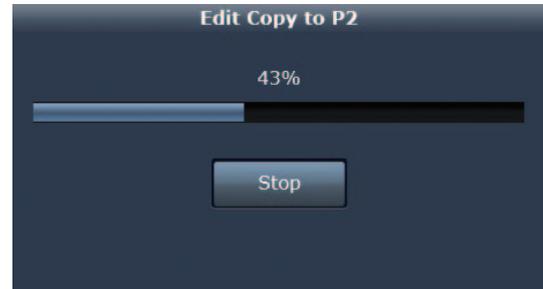
エディットコピーの設定を行うためのダイアログが表示されます。



- [Slot Number]：エディットコピーで作成する新しいクリップの書き込み先となる P2 カードが挿入された P2 カムのスロットを指定します。

3 エディットコピーダイアログの [Start] をクリックまたはタップする

エディットコピーが開始されます。

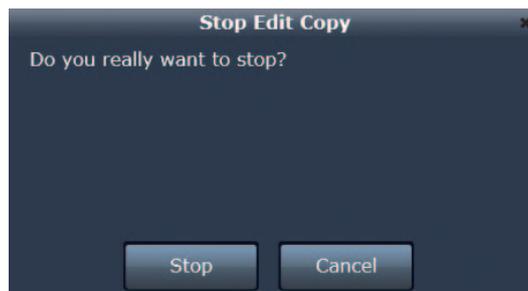


4 プログレスダイアログが表示され、エディットコピー完了後に終了メッセージが表示されるので、[OK] をクリックまたはタップしてダイアログを閉じる

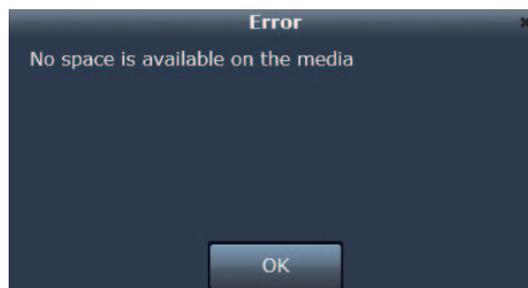
エディットコピーによって作成されたクリップが、[Contents List] パネルに追加されます。

NOTE

- プログレスダイアログで [Stop] をクリックまたはタップすることにより、エディットコピーを中止することができます。



- エディットコピーで新しく作成するクリップにプロキシ映像を付加することはできません。
- 複数枚の P2 カードへのエディットコピーはできません。
- エディットコピーしたクリップの編集点（各イベントの先頭）にはテキストメモが自動的に挿入されます。
- エディットコピーは、ユーザークリップ名以外の情報はコピーしません。
- エディットコピーによって作成されるクリップの予想サイズに対して、P2 カムに挿入されている P2 カードの空き容量が足りない場合は、次のエラーメッセージが表示され、エディットコピーを行うことはできません。



- エディットコピーで作成されるクリップのオーディオは 1CH から 4CH となります。
- クリップのタイムコードはプレイリストの先頭フレームを 00:00:00:00 とする連続したタイムコードに置き換えて出力します。
- イベント間のオーディオはボリュームフェード処理を行って出力します。

プレイリストをエクスポートする

プレイリストに登録されているイベントを P2 カードにエクスポートできます。エクスポートすると、プレイリストファイルも自動的にエクスポート先に作成されます。

プレイリストのエクスポートでは、素材データのクリップの全領域はエクスポートされません。イベントとして指定された範囲とその前後約 2 秒のみが分割してエクスポートされます。

1 [Menu] パネルの [Export] ボタン  をクリックまたはタップする

クリックしたボタンの右側に、サブボタンが表示されます。

2 サブボタンの中から [Playlist Export] ボタン  をクリックまたはタップする

エクスポートの設定を行うためのダイアログが表示されます。



- [Slot Number] : エクスポートの出力先となる P2 カードが挿入された P2 カムのスロットを指定します。

3 エクスポートダイアログの [Start] をクリックまたはタップする



4 プログレスダイアログが表示され、プレイリストのエクスポート完了後に終了メッセージが表示されるので、[OK] をクリックまたはタップしてダイアログを閉じる

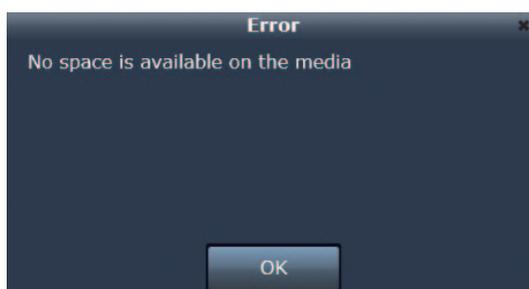
プレイリストのエクスポートによって作成されたクリップが、[Contents List] パネルに追加されます。

NOTE

- プログレスダイアログで [Stop] をクリックまたはタップすることにより、エクスポートを中止することができます。



- 前後 2 秒のデータがない場合は、ある範囲でエクスポートされます。
- プレイリストのエクスポートで新しく作成するクリップにプロキシー映像を付加することはできません。
- 作成されるクリップの予想サイズに対してエクスポート先の空き容量が足りない場合は、次のエラーメッセージが表示され、エクスポートを行うことはできません。



- 複数枚の P2 カードへのエクスポートはできません。
- microP2 カードアダプター (AJ-P2AD1G など) と SDHC または SDXC の組み合わせに対してエクスポートを行った場合、プレイリスト機能対応の P2 機器では素材データについては読み出し可能ですが、プレイリストファイルについては読み出すことはできません。

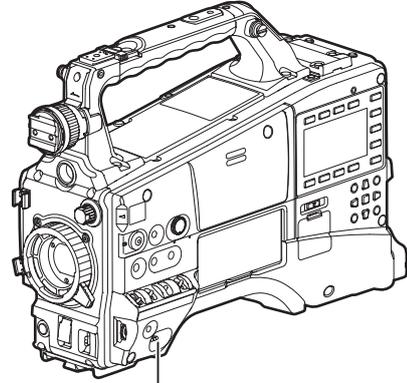
プレイリスト編集機能を終了する

プレイリスト編集機能の終了は、以下のいずれかの手順で行ってください。

P2 カムの電源を切って終了させる

1 Web ブラウザを終了する

2 P2 カムの〈POWER〉スイッチで電源を切る



〈POWER〉スイッチ

NOTE

・手順2の後に再びP2カムのスイッチを使用して電源を投入した場合、P2カムはプレイリスト編集機能が動作していない状態で起動します。

〈USER〉ボタンを使って終了させる

1 Web ブラウザを終了する

2 プレイリスト編集機能を割り当てた P2 カムの〈USER〉ボタンを押す

NOTE

・〈USER〉ボタンを使ってプレイリスト編集機能を終了させるためには、事前にP2カムの〈USER〉ボタンへプレイリスト編集機能を割り当てる必要があります。
詳しくは「プレイリスト編集機能を動作させる」(22 ページ)を参照してください。

用語解説

用語	説明
LAN	Local Area Network の略です。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。
DHCP (動的)	Dynamic Host Configuration Protocol の略です。 接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振る機能。DHCP サーバーの機能を持った機器が LAN 内にあれば接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振ります。
Static (静的)	DHCP を使用しない接続方法です。ユーザー自身で固定の IP を設定して接続する方法です。ネットワーク管理者からあらかじめ設定値を指定されている場合は、この方法で設定します。
IP アドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。 IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じ IP アドレスを使用することはできません。
MAC アドレス	各ネットワークアダプターに固有の ID 番号です。 全世界のネットワークアダプターには 1 枚 1 枚固有の番号が割り当てられており、これを元にアダプター間のデータの送受信が行われます。 IEEE が管理・割り当てをしているメーカーごとに固有な番号と、メーカーが独自に各アダプターに割り当てる番号の組み合わせによって表されます。
ネットワークアドレス	IP アドレスを構成するビット列のうち、サブネットマスクが 2 進数で "1" を設定された部分のアドレスです。IP アドレスが [192.168.0.1]、サブネットマスクが [255.255.255.0] の場合、[192.168.0] がそれにあたります。
ホストアドレス	IP アドレスを構成するビット列のうち、サブネットマスクが 2 進数で "0" を設定された部分のアドレスです。IP アドレスが [192.168.0.1]、サブネットマスクが [255.255.255.0] の場合、[1] がそれにあたります。
SSID	Service Set ID の略です。無線 LAN では、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するために SSID と呼ばれる識別コードを設定する必要があります。一部メーカーの無線 LAN アダプターによっては「ESSID」や「ネットワーク名」などと表示されている場合もあります。
WPA2	Wi-Fi Protected Access の略で、通信するデータを暗号化する方式です。 暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。
サブネットマスク	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。その場合の IP アドレスを区切るための値のことをサブネットマスクといいます。

